Ħ	本事業名	41発展	運営管理	a			対	象		分雅周旧	見及び保護を	¥					
	基本事業	-PJ TE DE		_		基本事業の	(誰を	·何を	(-)	初作图列	し及び休設す	=					
	コード		411-01			概要		的	.4.	人間性や	や社会性の	基礎を培し	ハ、健やカ	かな成長	を育む。		
第6	次羽曳野市総	合基本	計画				(どうした	=L10)	(ימי								
	策目標 策		未来に羽 子育て支		ども・若者を育むまち				指標	名		単位	H28.4 現状値		29년 実		32年度 3標(総計)
	策の方向		すべての	子どもの	育ちへの支援	総合基本計画											
	ちづくりの :略	0			を活かしたまちづくり ・安全に暮らせるまちづくり	目標指標											
料	.mg	0	(3)人口	減少下の	活力と成長に向けたまちづくり			_									
	事務	8事業名	i	幼稚園加	施設改修事業			事	務事業=	ード	411-0	1-01					
	総計に基事業の進捗		(29年度	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法白	定・自治	治事務(義	務的なもの)	担当 H29		ども課	н	130	ども課
	平木の た13		惟を・何を)	市立幼	<u></u> 稚園14園	491796				業評価 (〔28年度実施	事業) 記	最終結果			二次評価対	象事業
1		F	目的					ı	松 合	評価・		7		妥当	当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要		たいのか)	安全なな	保育環境を確保する。					方向性	現状維持	寺 各視点	からの評価	P	4	В	Α
		=	手段	施設の	修繕等を行う。					業費 負担額)	28年月	度決算額 3.392	29年	F度(当初 1	D)予算額 7.282	30年度 実施の	実施
		(争え	業内容)	"CLLX"						単位:千円	3 (3,392) (17	7,282	方向性	74,00
	事務	落事業名						_					 1				
		お手未て	í	幼稚園	国営事務事業			事	務事業=	ード	411-0	1-02					
	総計に基	づく	(29年度		運営事務事業 順調である	継続・	継続	法	定・「」			1-02 担当 ^{H29}		ども課	н	130 =	ども課
		づく が状況	(29年度	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法自	定· 自治	治事務(義	務的なもの)	担当 1129		こども課	Н		
2	総計に基	づく 大沢 対象(記	(29年度 能を・何を)	A 利用を	■ である ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	新規		法自	定・自治 自治 度事務事	治事務(義		担当 1129		ども課		二次評価対	
2	総計に基	づく 状況 対象(記	(29年度 能を・何を) 目的	A 利用を 安全で	順調である	新規 しいことがいっし		法自	定· 自治 度事務事 総合	治事務(義	務的なもの)	担当 1129	曼終結果	妥当	当性	二次評価対	象事業
2	総計に基事業の進捗	づく 状況 対象(記 (どうし)	(29年度 能を・何を) 目的 たいのか)	A 利用を 安全で 期を過ご	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ごすことができる環境づくりを推 ・ラムに応じて幼稚園備品や消	新規 しいことがいっ! 進します。 耗品の購入の他	ぱいの幼児2、施設営	法自	定・ 自治 度事務事 総合の 今後の	治事務(義 業評価 (評価・ 方向性	務的なもの) (28年度実施現状維持	担当	と終結果 からの評価	妥当 医	当性 3 (1) 予算額	二次評価対 有効性 B	象事業 効率性 A
2	総計に基事業の進捗	づく 状況 対象(記 (どうし)	(29年度 能を・何を) 目的 たいのか)	A 利用を 安全で 期を過ご	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ごすことができる環境づくりを推	新規 しいことがいっ! 進します。 耗品の購入の他	ぱいの幼児2、施設営	法自	定・ 自治 度事務事 総合の 今後の	治事務(義 業評価 (評価・ 方向性	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年月	担当	と終結果 からの評価	妥当 E E E E (当初	3	二次評価対 有効性 B	象事業 効率性
2	総計に基 事業の進担 事務事業の 概要	づく 対象(記 対象(記 (どうし)	(29年度 能を・何を) 目的 たいのか) 手段 業内容)	A 利用を 安全で 期を カリキコ が 着す。	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ごすことができる環境づくりを推 ・ラムに応じて幼稚園備品や消れ 各種施設の保守点検や施設維	新規 しいことがいっ! 進します。 耗品の購入の他	ぱいの幼児2、施設営	法自 29年	定・自主をおります。 定事務事 総合の 参称市 (うち市)	治事務(義) 業評価 (評価・ 方向性 業費 負担額) 単位:干円	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年度	担当 H29 B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	と終結果 からの評価	妥当 E E E E (当初	3 (1) 予算額 (8,766)	二次評価対 有効性 B	象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 対象(記 対象(記 (どうし) (事事	(29年度 推を・何を) 目的 たいのか) 手段 案内容)	A 利用をで 安全の カリキンび す。	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ゴすことができる環境づくりを推 ニラムに応じて幼稚園備品や消割 各種施設の保守点検や施設維 まつり開催事業	新規 しいことがいっ! 進します。 耗品の購入の他	ぱいの幼児 2、施設営 て実施しま	29年	定治 度事務事 総合の 総総市 うち市	治事務(義) 業評価 (評価向性 業費負担額) 単位:千円	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年月 (411-0	担当 H29	最終結果 からの評価 29 ^全) (妥当 F度(当初 518 47	3 (1) 予算額 (8,766)	二次評価対 有効性 B 30年度 実施の 方向性	象事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進担 事務事業の 概要	づく 対象(計 (どうし) (事事業名	(29年度 (29年度) (29年度)	A 利用をでいます。 対権関連	□関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ごすことができる環境づくりを推 こうムに応じて幼稚園備品や消れ 各種施設の保守点検や施設維 まつり開催事業	新規 しいことがいっ 進します。 耗品の購入の他 持管理を継続し	ぱいの幼児2、施設営	法自 29年	度事務事会のの総称市に治療を表現している。	治事務(義 業評価 (評方向性 業費 負担額) 単位:千円	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年度 (411-0 (意のもの)	担当 H29 A45,108 H29	最終結果 からの評価 29 [±])(妥当 E E E E (当初	当性 3 3)予算額 8,766 1,166	二次評価対 有効性 B 30年度 実施の 方向性	象事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 対象(計 (どうし) (事事業名	(29年度 (29年度) (29年度)	A 利用をでいます。 対権関連	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ゴすことができる環境づくりを推 ニラムに応じて幼稚園備品や消割 各種施設の保守点検や施設維 まつり開催事業	新規 しいことがいっ 進します。	ぱいの幼児 2、施設営 て実施しま	法自 29年	度事務事会のの総称市に治療を表現している。	治事務(義 業評価 (評方向性 業費 負担額) 単位:千円	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年月 (411-0	担当 H29 A45,108 H29	最終結果 からの評価 29 [±])(妥当 E E E (当初 477 こども課	当性 3 3) 予算額 8,766 1,166	二次評価対 有効性 B 30年度 実施の 方向性	象事業 効率性 A 実施 ども課 象事業
	総計に基 事業の進材 事務事業の 概要 総計に基 事業の進樹	がく 対象(語 (どうし) 事業名 が表現。 (本事業名 対象(語	(29年度 (29年度) (29年度)	A 利用をでいる。 対権関係 対権関係 利用をできる。 対策関係 対策関係 対策関係 利用をできる。 対策関係 対策関係 対策関係 対策関係 対策関係 対策関係 対策関係 対策関係	□関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ごすことができる環境づくりを推 こうムに応じて幼稚園備品や消れ 各種施設の保守点検や施設維 まつり開催事業	新規 しいことがいっ 進します。 能品の購入の他持管理を継続し	ぱいの幼児 2、施設営 て実施しま 継続	法自 29年	定治 度事務 合の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	台事務(義 業評価 (評価・ 業費担額) 単位:千円 治事務(任 業評価 (務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年度 (411-0 (意のもの)	担当 H29 H29 A H29 A H29 A H29 A H29 A H29 B H29	からの評価 29年) (要当 EF度(当初 518 477	当性 3 3)) 予算額 8,766 1,166	二次評価対 有効性 B 30年度 実施の 方向性	象事業 効率性 A 実施 ども課 象事業 効率性
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 事業の進捗	対象(語 対象(語 (どうし) (事事 対象(語 対象(語	(29年度	A 利用をでは過いた。 対権関語 が権関語 別曳野	■関である 希望する幼稚園児や保護者 快適な幼稚園生活を提供し、楽 ごすことができる環境づくりを推 ラムに応じて幼稚園備品や消れ 各種施設の保守点検や施設維 まつり開催事業 ■関節である 市立幼稚園の園児及び保護者	新規 しいことがいっ 進します。 廷品の購入の他 持管理を継続し 継続・ 新規	ぱいの幼児 は、施設営 で実施しま 継続	法自 29年	定治 度事務 合の 会後の事市: 会後の事市: 会後の事市: 会後の事市: 会後の事市: 会後の事市: 会後の事市: 会後の事市:	治事務(義: 業評価 (評)	務的なもの) (28年度実施 現状維持	担当 H29 H29 A H29 A H29 A H29 A H29 A H29 B H29	及終結果 からの評価 29年)) (要当 EF度(当初 518 477	当性 3 3) 予算額 8,766 1,166	二次評価対 有効性 B 30年度 実施の 方向性	象事業 効率性 A 実施 ども課 象事業

ž	基本事業名	保育園運	【営管理	l				対 (誰を [,]	象 何	F)	保育園児	及び保護者	†					
	基本事業 コード 次羽曳野市総		11 -02 ·画			基	基本事業の 概要		的		園児の倒	むかな成長	を育む	とともに、1	仕事と子	·育てを両:	立できるヨ	環境を確保する
力	拖策目標 拖策	1 子	育て支	爰	ども・若者を育むまち					指標	名		単位	H28.4 現状値		29年月 実績		32年度 目標 (総計)
	を策の方向 まちづくりの	(1)羽曳雪	野の資源	育ちへの支援 を活かしたまちづくり		合基本計画 目標指標	保育所待機」	見童	数			٨		0		0	0
¥	战略				安全に暮らせるまちづくり活力と成長に向けたまちづ	くり												
		8事業名		公立保育	育所運営事務事業				PUIF	務事業=	コード	411-02	2-01					
	総計に基事業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続		定· 自治	治事務(義	務的なもの)	担当 H2		ども課	нзо	٦	ども課
1		対象(誰を	・何を)	保護者	の労働や疾病等に伴い係	保育を必要	とする児童		294	E度事務事	業評価 (28年度実施	事業):	最終結果	1 = 1		次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうした)	句 いのか)	安全で! ごすこと	快適な保育を提供し、楽し こができる環境づくりを推済	∠いことがし 進します。	ハっぱいのタ	カ児期を過			評価・ 方向性	現状維持	各視点	いらの評価	<u>妥当</u>		^{有効性} B	効率性 A
	,,,,	手段(事業内		公立保	育所5園を適正に運営し、	、保育を実	施します。				業費 負担額) 単位:千円	8	決算額 328,530 728,595)(D)予算額 2,556 5,113)	30年度 実施の 方向性	実施
	事務	務事業名		公立保育	育所施設整備事業				哥	務事業=	コード	411-02	2-02					
	総計に基 事業の進払		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続		定・ 自治	治事務(義績	務的なもの)	担当 出	, :	ども課	Н30	٦	ども課
2		対象(誰を	・何を)	市内公	立保育園				29£	E度事務事	業評価 (28年度実施	事業):	最終結果			次評価対	
_	事務事業の 概要	目的 (どうした)		安全な	保育環境を確保する。						評価・ 方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当		^{有効性} B	効率性 A
	,,,,	手段(事業内		老朽化 修等を	している園舎の修繕や、? 行う。	侍機児童の	の解消のため	めの施設改			業費 負担額) 単位:千円		決算額 45,593 42,640	29年		D)予算額 1,312 8,350)	30年度 実施の 方向性	実施
	事務	務事業名		民間保育	育所運営事務事業				呵	務事業コ	1 — ド	411-02	2-03					
	総計に基事業の進物		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続		定・自治	治事務(義)	務的なもの)	担当 H2		ども課	H30	=	ども課
3		対象(誰を	・何を)	保護者	の労働や疾病等に伴い係	保育を必要	とする児童		294	度事務事	業評価 (28年度実施	事業):	最終結果		=	次評価対	象事業
J	事務事業の 概要	目的 (どうした)		必要な	保育を安全かつ安定的に	提供する	•				評価・)方向性	現状維持	各視点	からの評価	<u>妥当</u>		_{有効性} B	効率性 B
		手段(事業内			育所等において保育需要 善等を目的とした単独補			する児童の			業費 負担額) 単位:千円	1,4	決算額 490,932 503,187)(D)予算額 9,238 3,984)	30年度 実施の 方向性	実施
	事系	8事業名		民間保育	育所施設整備事業				Toll Toll	務事業二	1—K	411-02	2-04					
	総計に基事業の進物		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続		定・自治	治事務(任	意のもの)	担当 1121	, -	ども課	Н30	z	ども課
4		対象(誰を	·何を)	市内民	間保育園及び幼保連携記	忍定こども	園の施設整	備	294	度事務事	業評価 (28年度実施	事業):	最終結果			次評価対	
,	事務事業の 概要	目的 (どうしたし			加している保育需要に応 施設の定員数を増やし受			人等が設			評価・)方向性	現状維持	各視点	いらの評価	<u>妥当</u>		有効性 B	効率性 A
		手段(事業内			祉法人等が設置する施設 事業を実施する。	段に係る整	備事業に対	し、市が行			業費 負担額) 単位:千円		決算額 12,380 2,151	29年		D)予算額 1,975 7,613)	30年度 実施の 方向性	実施

	基本事業名	就学前	前教育・保	育の充				対 (誰を		就学前児	見童及び保護者	÷			
第6	基本事業 コード 次羽曳野市編	総合基本	411-03			基	本事業の 概要	目 (どうした	的 :いのか)	多様なニ	ニーズに対応する	る、新た	こな教育・保育の	D一体的なサーヒ	ごスの推進を図る。
<u> </u>	施策目標 施策 施策 施策の方向		未来に羽 子育て支	援	子ども・若者を育むまち の育ちへの支援	総合	·基本計画		指標	名		単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
	まちづくりの 戦略	0	(2)だれ	もが安心	源を活かしたまちづくり 心・安全に暮らせるまちづくり の活力と成長に向けたまちづく		標指標								
	事	務事業名	<u></u> ጀ	幼保一	-元化推進事業				事務事業	コード	411-03-0	01	1		
	総計に基 事業の進		(29年度	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	目治事務(任	任意のもの) 担	当 H29	こども課	H30	こども課
1	事務事業 <i>の</i> 概要		誰を・何を) 目的 たいのか)	教育・保 一体的か	前児童 携による子育て支援機能の充実】教育 育それぞれに対するニーズへの対応・ かつ総合的に推進するため、幼保連携 て支援の充実)	を図ります。ま	た、就学前児童	の教育・保育を	総合	業評価・ 評価・)方向性	現状維持		妥りたの評価	二次評価 当性 有効性 A A	 効率性 A
	199. 🗴		手段 業内容)	【幼保連 編し、幼(、文優の元美) :携事業】就学前児童の教育・保育を一 保連携事業に取り組みます。【幼稚園 なに向け、研修をはじめ、幼稚園教諭と	教諭及び保育	士の交流】教育	・保育ニーズ		工業費 ・負担額) 単位:千円	28年度決	算額 0 0	29年度(当社	70) 予算額 30年 0 実施 0) 方向	実施 実施
	事	事務事業名		こどもぇ	未来館たかわし整備事業				事務事業	コード	411-03-0	02			
	総計に基 事業の進		(29年度	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任	任意のもの) 担当	当 H29	(仮称)こども未来館たかわし	.設立準備室 H30 (仮称)こ	ども未来館たかわし設立準備室
2		対象(誰を・何を)		未来館たかわし		* /0 * *	<i>H</i> -461-	29年度事務事	業評価	(28年度実施事	業) 最			西対象事業
	事務事業の 概要		目的 たいのか)	行い、	前の子どもたちの成長発達 心と体、意欲や規範意識な を育成する。				今後の	評価・)方向性			からの評価	当性 有効性 A B	Α
			手段 業内容)	幼保道	重携型認定こども園「こどもぇ	未来館たか	わし」を整	備する。		基業費 負担額) 単位:千P		算額 1,780 3,380		図)予算額 43,270 57,170) 方向	実施
	事	務事業 名	3	こどもを	未来館たかわし設立準備事務	事業			事務事業	コード	411-03-0	03	1		
	総計に基事業の進		(29年度	_	達成•終了		継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(義	務的なもの)担	当 H29	(仮称)こども未来館たかわし	.設立準備室 H30 (仮称)こ	ども未来館たかわし設立準備室
3		対象(誰を・何を)	こども	未来館たかわし		•		29年度事務事	業評価	(28年度実施事業	業) 最	終結果	二次評価	西対象事業
	事務事業の概要		目的 たいのか)	こども: 行う。	未来館たかわし設立にあた	:って、施設	整備にむり	ナた準備を	今後の	評価・)方向性	改善して継続		からの評価	当性 有効t A A	b 効率性 B
			手段 業内容)		§備にあたっての調整・予算 或等を行う。	「作成および	び運用に関	しての資		基業費 負担額) 単位:千P		算額 2,584 2,584	29年度(当社	初)予算額 2,592 2,592) 方向	(o) —
	事	務事業名	<u> </u>	民間こ	ども関施設整備支援事業				事務事業	コード	411-03-0	04	1		
	総計に基 事業の進		(29年度	Α	順調である		継続・ 新規	新規	法定· 自治	治事務(任	任意のもの) 担語	当 H29	こども課	H30	こども課
4		対象(誰を・何を)	市内民	民間幼保連携認定こども園の	の施設整備	Ħ		29年度事務事	業評価	(28年度実施事	業) 最			西対象事業
	事務事業の 概要	番業の (どうしたいのか)			曽加している教育・保育需要 置する施設の定員数を増や			福祉法人等	今後の	評価・)方向性			からの評価	当性有効性	
			手段 業内容)		冨祉法人等が設置する施設]事業を実施する。	に係る整備	#事業に対	し、市が行		工業費 「負担額) 単位:千円	28年度決	算額	29年度(当社	初)予算額 実施 方向	実施 実施

					_			_										
基	本事業名	子どもの権利捕	護の推進	隹			対 (誰を	象 •何を	-)	児童								
	基本事業 コード	411-04				事業の 既要		的	.4.\	子どもの)基本的人権を	補償す	⊦る。					
第62	欠羽 曳野市総	合基本計画					(どうした	<u>-</u> L\0,	(ימנ)									
	策目標 策	4 未来に羽 1 子育て支		ども・若者を育むまち					指標	名		単位		3.4時点 (総計)		年度	32年	F度 総計)
	策の方向	1 すべての	子どもの	育ちへの支援		基本計画							20 N IE	(WORL)	,	C 198	<u>ы</u> тж (NO BIT
	ちづくりの			を活かしたまちづくり ・安全に暮らせるまちづくり	目標	票指標												
戦	略)活力と成長に向けたまちづくり														
	事務							事	務事業	コード	411-04-	-01						
		総計に基づく 業の進捗状況 (29年度 日 概ね順調である				継続・ 新規	継続		定· 自治	治事務(義	務的なもの) 担	担当 H29		こども課		H30	こども訳	#
		業の進捗状況 18歳未満の児童とその家族、及び好			7	·		29年	度事務事	業評価	(28年度実施事	業)	最終結果			二次評価	対象事業	ŧ
1	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	安心して	て産み育てられる育児への援助	ħ					評価・)方向性	現状維持	各視点	いらの評	妥当		有効性	交	^b 率性
		手段(事業内容)	養育相	談等,子育て短期保護事業等						基業費 i負担額) 単位:千円		央算額 8,435 525) (D) 予算8 8,068 2,713	30年 実施の 方向性	5	実施
	事務	事業名	児童虐待	特防止•対策事業				事	務事業	コード	411-04-	-02						
	総計に基 事業の進捗		В	概ね順調である		継続・ 新規	継続	法自	定· 自治	治事務(義	務的なもの) 担	担当 H2S		こども課		H30	こども訳	#
		対象(誰を・何を) 児童への虐待防止推進活動						29年	度事務事	業評価	(28年度実施事	業)	最終結果			二次評価	対象事業	ŧ
2	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	児童へ	の虐待を防止する。						評価・)方向性	現状維持	各視点	からの割	妥		有効性	交	h率性 A
	1m X	手段 (事業内容)	啓発活	動、相談業務、虐待対応、養育	支援等					基業費 i負担額) 単位:千円	28年度2	大算額 5,856 161) (9年度(当初	D)予算を 4,707 474	30年 実施の 方向t	5	実施

基	本事業名	すべての子と	もの育ち	への支援			対 (誰を・	象 ·何を	<u>E</u>)	児童						
	基本事業 コード	411⊣)5		基本事業概要		目 (どうした	的 -L\0) <i>†</i> ()	心身とも	こ健やかに育	つ環境	づくり・仕糸	且みづくりを	図る。	
第62	欠羽曳野市総						(2)0/2		<i>,</i>							
施施	策目標 等	4 未来に 1 子育で		子ども・若者を育むまち					指相	票名		単位	H28.48		29年度 実績	32年度 目標(総計)
	衆 策の方向			の育ちへの支援	総合基本	_ 画信2							光 次尼(**	DH17	人根	11 38 (NO117
ま	ちづくりの			源を活かしたまちづくり	目標指	信標										
戦	略			・安全に暮らせるまちづくりの活力と成長に向けたまちづくり												
	事務							事	務事業	ニコード	411-05-	-01				
		総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度 A 順調である				継続・ 新規	継続		定• 目治	自治事務(任	意のもの) 担	当 H29	ت ک	ごも課	нзо	ども課
		対象(誰を・何	を) 子ども	,				29年	度事務	事業評価 (28年度実施事	業)最	 終結果		二次評価対	象事業
	事務事業の 概要	目的(どうしたいのか		デッシュ有選手や広く一般からの。 こた基金を活用して、心身の健や						合評価・ の方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当性	有効性	効率性 A
	,,,,	手段 (事業内容)	く一般の	ッシュ有選手が、公式戦で1勝ごとに10 り方からふるさと納税をいただいたりした 金」に積み立て、子どもの福祉に役立つ	と寄付金を「タ	ダルビッシ	/ュ有子ども			事業費 市負担額) 単位:千円	28年度》	集算額 1,009 738	29年月	度(当初)予算 4,121 741	実施の	実施
	事務	務事業名	こども	夢プラン進行管理事務事業				事	務事業	コード	411-05-	-02				
	総計に基 事業の進捗		· (g) 人	順調である		継続・ 新規	継続		定· 目治	自治事務(義務	務的なもの) 担	当 H29	ے خ	さま課	Н30	ども課
		対象(誰を・何	を) 市民					29年	度事務	事業評価 (28年度実施事	業) 最	終結果		二次評価対	象事業
2		目的		野市子ども・子育て支援事業計画					総合	う評価・	TE 11: 4#	7 AD -	to 2 material	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	8事業の (どう) たいのか) 援行動計画、羽曳野市母子保健計画				ことも夢	・フラン)			の方向性	現状維持	各視点	からの評価	Α	В	Α
		手段 (事業内容)	の機関を設 こついても					事業費 市負担額) 単位:千円	28年度》	集算額 1,366 1,366	29年月	隻(当初)予算 2,516 2,516	実施の	実施		

29年度 実績 32年度 目標 (総計) - 25 主課 次評価対象事業 有効性
1430
1430
1430
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 実施
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 実施
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 実施
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 実施
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 実施
有効性 効率性 A A A A A B 実施の 実施 実施
A A A 額 30年度 実施の 実施
実施の実施
нзо こども課
二次評価対象事業
有効性 効率性
A A 額 30年度
実施の 実施) 方向性
H30 こども課
二次評価対象事業
有効性 効率性
AA
実施の実施
) 万円性
T
H30 こども課
二次評価対象事業
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 実施
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 実施
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 方向性 (実施の方向性)
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の 方向性 実施 ン方向性 実施 二次評価対象事業 有効性 効率性
二次評価対象事業 有効性 効率性 A A 額 30年度 実施の方向性 実施 プラウス こども課 二次評価対象事業
75向性 75向性 75向性 75向性 75向性 A 8額 30年度

基	本事業名	仕事と子育て	を両立でき	きる環境の整備			対 (誰を・		:)	保護者							
	基本事業 コード 欠羽曳野市総	412-0 合基本計画	2			事業の 要	目 (どうした		か)	多様化す	-るニーズに	あわせ	た保育	育サービスの	充実を図る	00	
施施ま	策目標 策 策の方向 ちづくりの 略	1 子育て 2 子育て (1)羽! 〇 (2)だれ	支援 家庭への3 曳野の資源 1もが安心	とども・若者を育むまち 支援 原を活かしたまちづくり い・安全に暮らせるまちづくり の活力と成長に向けたまちづくり	目標	本計画			指標	名		単位		H28.4時点 犬値(総計)	29年度 実績		32年度 標(総計)
	事務	事業名		現家庭自立支援事業				事	務事業=	ı ー ド	412-0	2-01					
	総計に基 [・] 事業の進捗		支 人	順調である	1 m	継続・ 新規	継続		定· l治	法定受討	托事務	担当出	!9	こども課	H30	Ξ.	ども課
1		対象(誰を・何を	母子家	『庭の母・父子家庭の父で児』	童扶養手当	i受給者 ²	等	29年	度事務事	業評価 (28年度実施	事業)	最終終			欠評価対象	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか	、) ひとり着	親家庭の自立の促進を図る。	>				総合 今後の	評価・ 方向性	現状維持	寺 各視 <i>,</i>	点から	の無価	当性 7 \	_{有効性} A	効率性 A
		手段 (事業内容)	関する	父子・寡婦福祉資金の貸し付 相談業務等を行い、就業支持 十金事業等を実施している。					総事(うち市)	業費 負担額) 単位:千円		度決算額 10,005 6,824			D)予算額 4,150 4,491)	30年度 実施の 方向性	実施
		•	一時預	かり事業					務事業=	1—F	412-0	2-02					
	総計に基準事業の進捗				心理的・肉化	継続・ 新規 本的負担	継続等を抱え	自	70			担当出		こども課	Н30		ども課
2	事務事業の 概要	対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか	る保護 保護者 を解消		等に伴う心	理的•肉	体的負担	29年	総合		現状維持	1		妥	当性 7	次評価対象 有効性 人	効率性
		手段 (事業内容)	市内の補助す)民間保育所のうち3園で本 ^裏 ⁻ る。	事業を実施し	し、そのi	運営費用を		総事(うち市)			度決算額 14,689 5,649			D)予算額 6,140 7,100)	30年度 実施の 方向性	実施
	事務	事業名	延長保	育事業				事	務事業=	1 - ド	412-0	2-03					
	総計に基・ 事業の進捗		文 A	順調である		継続・ 新規	継続		定・ l治	治事務(義	務的なもの)	担当出	!9	こども課	H30	Ξ.	ども課
3		対象(誰を・何を		必要とする保護者	•	•		29年	度事務事	業評価 (28年度実施	事業)	最終終			次評価対象	
•	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか	+1- L	R育施設を利用する保護者が り、保育認定を受けた時間外 「る。					総合 今後の	評価・ 方向性	現状維持	寺 各視:	点から			^{有効性} A	効率性 A
		手段 (事業内容)		展育所に対し、事業実施に必要 (国庫補助事業)	要な費用とし	して、補助	助金を交付		総事(うち市)			斐決算額 4,062 1,662			D)予算額 5,700 2,100)	30年度 実施の 方向性	実施
	事務	事業名	病後児	保育事業				事	務事業=	ード	412-0	2-04					
		事務事業名 病後 計に基づく 美の進捗状況 (29年度)		順調である		継続・ 新規	継続	法自	定・ 治	治事務(義	務的なもの)	担当 出	!9	こども課	Н30	٦	ども課
4		対象(誰を・何を	病気の)回復期等であることから集団	団保育が困	難な児童	Ī	29年	度事務事	業評価 (28年度実施	事業)	最終終			次評価対象	
	事務事業の 概要	ります。 事業の (どう) たいのか)		が就労等の事由により家庭 [かる	で保育が出	来ない	児童を一時		総合 今後の	評価・ 方向性	現状維持	寺 各視:	点から	の無価	当性 7 ^	有 効性 人	効率性 A
		(どうしたいのか) 的に預かる 手段 (事業内容) 事業実施団体に運営費補助金を交付す。				国府負担	!あり)		総事	業費 負担額)	28年月	度決算額 8,108		29年度(当初	D) 予算額 9,552	30年度 実施の	実施

基	本事業名	きめ細やかな例	青·子青	てサービスの提供			対 (誰を・		保護者					
	基本事業 コード 次羽曳野市総	412-03 合基本計画			基本事業概要	の	目(どうした	的	安心して	子育てできる環境	竟を確	保する。		
施施	策目標 策 策の方向	 1 子育て支 2 子育て家 	援 庭への支	ども・若者を育むまち 5援 を活かしたまちづくり	総合基本記録			指標	1名	単	近立	H28.4時点 見状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
ま戦	ちづくりの i略	O (2)だれ	もが安心・	安全に暮らせるまちづくり活力と成長に向けたまちづくり										
	事務	事業名	養育支持	爱訪問事業				事務事業	コード	412-03-01				
	総計に基 事業の進捗		В	概ね順調である	継続新		継続	法定· 自治	治事務(義	務的なもの) 担当	H29	こども課	Н30	こども課
1		対象(誰を・何を)	養育が	困難な家庭				29年度事務事	業評価 (28年度実施事業)最終			価対象事業 性 効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		見守り、親への家事援助による 軽減等により児童虐待防止を		レの向	上、育児		·評価・)方向性	現状維持各	視点か	この郵価	当性 有効· 人 人	A
		手段 (事業内容)	養育が	困難な家庭にヘルパーを派遣	し、養育を支	を援す	る。		基業費 「負担額) 単位:千円	28年度決算 3,0 (1,8	55	29年度(当社	7) 予算額 3,059 1,859) 方向	実施 実施
	事務	事業名	子育で短	豆期支援事業				事務事業	コード	412-03-02		1		
	総計に基 事業の進捗		В	概ね順調である	継統新	続・ i規	継続	法定· 自治	治事務(義	務的なもの) 担当	H29	こども課	Н30	こども課
2		対象(誰を・何を)	事情が	ある家庭の児童				29年度事務事	¥評価 (28年度実施事業)最終			
_	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	夜間放	置等の児童虐待を防止する。					評価・)方向性	現状維持 各	視点か	この転車	当性 有効 [·] 人 人	対率性 人
		手段 (事業内容)	児童養 る。)	護施設にて短期間の児童の一	-時預かり(1	週間	を限度とす		葉業費 「負担額) 単位:千円		額 14 93)	29年度(当初	7) 予算額 2,300 2,078) 方面	を 実施
	事務	事業名	育児支担	爱家庭訪問事業				事務事業	コード	412-03-03		1		
	総計に基 事業の進捗		В	概ね順調である	継続新	続・ i規	継続	法定· 自治	治事務(義	務的なもの) 担当	H29	ニども課	H30	こども課
3		対象(誰を・何を)	第2子以	以降を出生した家庭				29年度事務事	¥評価 (28年度実施事業) 最終	冬結果	二次評	 西対象事業
,	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	新生児 る。	家庭を訪問することにより、安	心して育児を	を行え	るようにす		評価・)方向性	改善して継続各	視点か	この部体	当性 有効· A B	<u></u>
	176.5	手段 (事業内容)		家庭を保育士・子どもサポータ 況を把握し、新生児育児への					等業費 「負担額) 単位:千円	28年度決算 5,3		29年度(当初	7) 予算額 5,331 0) 方面	生の 実施
	事務	事業名	赤ちゃん	の駅設置事業				事務事業	コード	412-03-04	1	1		
	総計に基 事業の進捗		Α	順調である	継続新		継続	法定· 自治	自治事務(任	意のもの) 担当	H29	こども課	Н30	こども課
4		対象(誰を・何を)	外出中	の乳幼児及びその保護者	_			29年度事務事	¥評価 (28年度実施事業) 最終			 西対象事業
,	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	の親子が	え又は授乳のできる施設を登録し、「 安心して外出できる環境の整備を図 いまちづくりを推進することを目的とし	り、地域社会全	とにより 全体で子	、子育て中 子育てを支え		評価・)方向性	現状維持 各	視点か	この転車	当性 有効· A B	性
		手段 (事業内容)	無料で場	らんの駅事業 基準を満たす施設 易所の提供をしてもらう事業。②移 シントにテント、おむつ交換台等を	多動式赤ちゃん	しの駅			葉業費 「負担額) 単位:千円	28年度決算 2,0 (2,0	54	29年度(当社	7) 予算額 1,259 1,259 方向	実施 実施

対象(誰を・何を) 子育て中の保護者

手段 (事業内容)

事務事業の 概要 目的 羽曳野市の公式子育て応援サイトとして、子育てに関する情報を (どうしたいのか) 発信することで、地域の子育てを支援する。

こども課、市立子育て支援センター、健康増進課が、それぞれのページを運用し、子育てに 関する情報を提供しています。こども課では台風などによる保育園の休園情報など、子育て 支援センターは日々の事業の様子などをすばやく提供しています。

基本事業名	子育	てに関する	情報の	発信			対 (誰を・		保護者	等				
基本事業 コード		412-04				事業の 【 要	目		制度な	5各種サービスに	- 仮ス国	目知を図る		
6次羽曳野市約	合基ス	本計画					(どうした	いのか)	叩及、	で古作り一しへい	- Iボる)F	വെഷമല്ലയം		
施策目標	4	未来に羽	ぱたく	子ども·若者を育むまち				±=	標名		単位	H28.4時点	29年度	32年度
施策	1	子育て支持	爰					111	1示1口		丰四	現状値 (総計)	実績	目標(総計)
施策の方向	2	子育て家原	産への	支援	総合基	本計画	はびきの子首	アマット見	整同粉(更計/		66,000	94.142	142.800
++ ~ (110		(1)羽曳里	予の資	源を活かしたまちづくり	目標	指標	はいさのナド	しいクロ	見四奴(₹¢ n i /	Ш	00,000	34,142	142,800
まちづくりの 戦略	0	(2)だれも	が安心	ン・安全に暮らせるまちづくり										
4,5,40	0	(3)人口派	域少下(の活力と成長に向けたまちづくり										
												_		
事利	务事業:	名	はびき	の子育てネット運用事務事業				事務事	業コード	412-04-	-01			
総計に基					継続・	継続	法定· 白治	自治事務	(任意のもの) 担	当 H29	こども説	H30	こども課	

29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果

現状維持

各視点からの評価

14,414

14,414) (

В

当初)予算額

14,460

総合評価・ 今後の方向性

総事業費 (うち市負担額)

単位:千円

二次評価対象事業

Α

実施

В

30年度 実施の 方向性

į	本事業名	地域子育で支担	Ę.				対象 ・・何を)	保護者					
	基本事業 コード 次羽曳野市総	413-01 合基本計画			基本事業の 概要		目的 たいのか)	地域で	孤立することなく、穿	ぎしく子育て	できる環境を	確保する。	
<u></u>	5 策 5 策の方向 ちづくりの 战略	1 子育で支 3 地域ぐる 〇 (1)羽曳 〇 (2)だれ	援 みの子育 野の資源 もが安心	ども・若者を育むまち て支援の充実 を活かしたまちづくり ・安全に暮らせるまちづくり ・活力と成長に向けたまちづくり	総合基本計 目標指標	画	指標	票名	単	位 H28. 現状値	4時点 (総計)	29年度 実績	32年度目標(総計)
	事務	· 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	<u> </u>	育て支援拠点事業			事務事業	コード	413-01-01		l	l.	
	総計に基 事業の進捗		Α	順調である	継続新規		法定・自治	自治事務(義	義務的なもの) 担当	H29	こども課	H30	こども課
1		対象(誰を・何を)	地域の	乳幼児及びその保護者		•	29年度事務	事業評価	(28年度実施事業)	最終結果		二次評価対	才象事業
•	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		子育て支援機能の充実を図り、 ぎもの健やかな育ちを支援するこ				ì評価・ D方向性	現状維持 各社	見点からの評	妥当性 A	有効性	効率性 A
	似女	手段 (事業内容)	の提供、財	びその保護者が相互の交流を行う場所を開 力言その他の援助を行っています。 具体的に 数室や親子で楽しめるイベントなどを開催し	は、子育で講座、			事業費 5負担額) 単位:千f	28年度決算8 57,57 円 (34,51	70	年度(当初)予算 57,570 34,518	実施の	
	事務	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	古市複合	合館管理事務事業			事務事業	コード	413-01-02				
	総計に基事業の進捗		Α	順調である	継続新規		法定·自治	自治事務(化	任意のもの) 担当	H29	こども課	Н30	こども課
2		対象(誰を・何を)	古市複 ター)	合館(子育て支援センターふる)	いち、図書館	、青少年セン	29年度事務署	事業評価	(28年度実施事業)	最終結果		二次評価対	
_	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	地域の	子育てと青少年活動の拠点とす	ける。			↑評価・ D方向性	現状維持 各被	見点からの評	妥当性 A	有効性	効率性 A
	<i>,,,</i>	手段 (事業内容)		び教育委員会が管理する施設。 援センター、図書館及び青少年				事業費 5負担額) 単位:千F	28年度決算8 4,48	35	年度(当初)予算 4,933 4,933	実施の	実施
	事務	事業名	ファミリ-	ーサポートセンター運営事務事業			事務事業	コード	413-01-03				
	総計に基 事業の進捗		Α	順調である	継続新規		法定・自治	自治事務(化	任意のもの) 担当	H29 子育で支	援センターふるい	ち H30 子育で支	援センターふるいち
3	7 888 623	対象(誰を・何を)		員・協力会員ともに、市内在住の の子どものいる方				事業評価	(28年度実施事業)	最終結果		二次評価対	
3	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	子育ては人(協力	の援助をして欲しい人(依頼会) コ会員)の相互援助活動により、			祁石	i評価・ D方向性	現状維持 各初	見点からの評	妥当性 A	有効性 B	効率性 A
	似女	手段(事業内容)	センター 助を受り	ことを目的としています。 -は、依頼会員と協力会員との) ナた依頼会員は協力会員に報 動報告書をセンターに提出しま	酬等を支払い			事業費 5負担額) 単位:千f	28年度決算8 2,97 円 (1,37	13	年度(当初)予算 3,033 1,433	実施の	実施
	中 35	事業名	i	受推進保育所事務事業	7 0		事務事業		413-01-04		1,10	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
	総計に基	づく (20年度	水庭又 1	展開である	継続		法定・		任意のもの) 担当	H29	こども課	Н30	こども課
	事業の進捗	対象(誰を・何を)			新規	THE 1976	目治		(28年度実施事業)		0#^	二次評価対	
4	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		びその家庭に対し、家庭環境に 施と、支援が行き届きにくい在9				☆評価・ の方向性	現状維持 各初	見点からの評	妥当性 B	有効性 B	効率性 A
	概要	手段 (事業内容)		問・出前育児相談等を行う保育			総当	事業費 5負担額) 単位:千	28年度決算者 4,96	52	年度(当初)予算 4,800 300	章額 30年度 実施の	実施

基	本事業名	教育委員	員会の道	<u> </u>				象 ・何を)	教育委員	l会				
į	基本事業 コード	4	21-01			基本事業の 概要								
第62	欠羽曳野市総	合基本語	十画			194.54		的 :いのか)	教育行政	女の基本的な方:	針を決定	し、委員会事	務の推進を図る	00
-	策目標 策		来に羽	ぱたく子と	ども・若者を育むまち			指標	名			H28.4時点 状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
	策の方向	1 F:	生きる力		教育の推進	総合基本計画	学校へ行くの	が楽しいと思	思う児童・生	主徒の割合		章85.4 生徒84.7	児童84.6 生徒78.	
	ちづくりの 略	(:	2)だれも	が安心・	を活かしたまちづくり 安全に暮らせるまちづくり	目標指標	将来の夢や希	望を持っている	と答えた児	童・生徒の割合	% 児ュ	童84.1 生徒70.2	児童82.3 生徒68.8	3 児童87.0 生徒72.5
			3)人口)		活力と成長に向けたまちづくり			<u> </u>]		
	総計に基金	事業名づく	(29年度)	教育委員	i 会運営事務事業	継続・	614 6±	事務事業=		421-01-0 務的なもの) 担き		教育総務語	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	非
	事業の進捗	状况		教育委員	順調である	新規	継続	目冶		28年度実施事業	44			教育総務課
1		目				7. to em 1. 7			評価・			妥	当性 有効性	
	事務事業の 概要	(どうした			員会の権限に属する事務を円滑		= 4- n+ 1 - 11 + n+	今後の	方向性		各視点から	/	A A	Α
		手! (事業)		会を開催	引する議案を審議するため、月1回 ∃する。新教職員人事や規則の制定 ≧等を教育長及び4人の教育委員の	となど、教育に関	目する一般方		経業費 :負担額) 単位:千円		,252		9,528 実施 9,528) 方向	実施 実施
						プロ級制にのグ	1170					1	9,326)	I II
	総計に基金	事業名づく			会関連事務事業	継続・	4)th 4±	事務事業		421-01-0		#L # M\ 75		#L
	事業の進捗	状況	(29年度)	A ** 本手	順調である	新規	継続	自治		務的なもの) 担当		教育総務語		教育総務課
2					も策や事務事業の取組状況につ				評価・	、28年度美施争家	長) 取於		当性 有効性	西対象事業 生 効率性
	事務事業の 概要	目I (どうした		行政の-	取組みの方向性を明らかにする −層の推進を図る。				方向性		各視点から	/	A A	Α
		手(事業)		行い、評	員会事務局にて、主要な施策や 呼価委員会の意見を聴取した上	で、点検・評価			業費 負担額)	28年度決	759	29年度(当初	783 実施	変 実施
				書を作り	<u> </u>	の公表を行う。)		単位:千円	1 (759)	1	783) <mark>方向</mark>	J1E
	事務 総計に基・	事業名		表彰関連	基本務事業	継続・	-	事務事業	コード	421-01-0	3			
	事業の進捗	状況	(29年度)	A	順調である	新規	継続	日沼		意のもの) 担当	44	教育総務語		教育総務課
3					E徒、職員及び団体	7 1 27 11 7 <u>1</u> 2 4±	- Alle //= -1- 1.			〔28年度実施事第	美) 最終		当性 有効性	m対象事業 生 効率性
	事務事業の 概要	目I (どうした			員会が表彰するのが適当である のあったものを表彰する。	らと認め る成績	、兼頼また		評価・)方向性	現状維持	各視点から	の評価	A A	Α
		手(事業)	段内容)		ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	3日に表彰する	る。また、必		業費 負担額)	28年度決	453	29年度(当社	568 実施	変 実施
				21-700					単位:千円	(453)	1	568) <mark>方向</mark>]性
		事業名		教育改革	客議会運営事務事業	AN 6+		事務事業	コード	421-01-0	14			
	総計に基金事業の進捗		(29年度)	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(任	きまた (担当	当 H29	学校教育	课 H30	学校教育課
4					革審議会委員 					28年度実施事業	美) 最終		二次評価	西対象事業 生 効率性
	事務事業の 概要	目! (どうした	的 いのか)	子育て加密議する	及び教育行政の新たな課題等 <i>0</i> る。	り重要事項につ	ついて調査		評価・)方向性	現状維持	各視点から	- AT 100	В В	Α
		手			見地に立ち審議会委員が協議る 今後の市の教育施策に反映さ		義会答申を		業費 負担額)	28年度決	算額 121	29年度(当社	切) 予算額 30年 1,145 実施	
		() ()	, , ,	TF/ACC.	7 区の市の教育池米に及いて	E-00			単位:千円	(121)	(1,145) 方向]性
		事業名		教科書的	『択関連事務事業	ALC ALC	•	事務事業	コード	421-01-0)5			
	総計に基金事業の進捗	状況	(29年度)	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(義	務的なもの) 担当	¥ H29	学校教育	果 H30	学校教育課
5					員、市立小中学校所属教職員		: نخبور و			28年度実施事業	美) 最終		二次評価	m対象事業 主 効率性
	事務事業の 概要	目! (どうした		公正なる 教科書	手続きのもと、羽曳野市の子ども を採択し、学習基盤を整える。	もたちにとって	最も適した	総合 今後の	評価・)方向性	現状維持	各視点から	の可用	A A	A
		手			見地に立った十分な調査・研究 市民としての意見も反映したう;				業費 負担額)	28年度決	算額 407	29年度(当初	初) 予算額 800 実施	
		(尹禾)	1127/	作成する					単位:千円	(407)	(800) 方向	性
		事業名		教育振り	基金管理運用事務事業			事務事業二	コード	421-01-0)6			
	総計に基準事業の進捗		(29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(任	揺意のもの) 担当	当 H29	学校教育	果 H30	学校教育課
6		対象(誰	を・何を)	教育振	具基金			29年度事務事	業評価 (28年度実施事業	美) 最終		二次評価	m対象事業 生 効率性
	事務事業の 概要	目! (どうした	的 いのか)	教育の	振興を図る。				評価・)方向性	現状維持	各視点から	の証法	A A	A A
	70% 女	手			吸び利子収入を基金に積み立で ない。	て、教育の振興	に関する事		業業費 負担額)	28年度決	算額 428	29年度(当初	切)予算額 30年 145 実施	
		(事業)	内容)	業のため	かに運用する。			(3.51)	単位:千円	(74)	(75) 方向	

基	本事業名	小中等	校管理道	性				対 (誰を [・]		\$)	市立小口	中学校						
	基本事業 コード 欠羽曳野市総	合基本	421-02 計画			基本事概要			的		安全で悟	央適な教育環	環境∙学	習環	境を確保する) ₀		
施施	策目標 		未来に羽 学校教育	ばたく子	ども・若者を育むまち					指標	<u> </u>		単位	立	H28.4時点 !状値(総計)		年度	32年度 目標(総計)
	^東 策の方向	1	「生きる力		教育の推進原を活かしたまちづくり	── ──総合基本 目標指								-5	50X III. (#681)		T 194	口1末(40日1)
ま戦	ちづくりの 略		(2)だれ	もが安心	・安全に暮らせるまちづくり)活力と成長に向けたまちづくり		1775											
<u> </u>	事務	事業名			校総務管理事務事業				Pil	■務事業=]—Ķ	421-0	2-01		1	<u> </u>	ı	
	総計に基	づく	(29年度)	<u> </u>	順調である		継続・新規	継続	'n	.		務的なもの)		H29	教育総務	課	430	育総務課
	事業の進捗		誰を・何を)	市立小							業評価	(28年度実施	事業)	最終	結果		二次評価対	対象事業
1	事務事業の 概要		目的 たいのか)		だめ適正かつ円滑な運営管理 快適で安全な学校生活を提供		児童・生	€徒及び利			評価・)方向性	改善して継	続 各初	点か	の転体	当性 A	有効性	効率性 A
	194.35	手段 (事業内容)		消耗品	の購入、校務員の配置など						業費 負担額) 単位:千F		表決算8 110,00 110,00	8		初)予算額 18,362 18,362	30年度実施の	実施
	市 水	7 TH AM A	,	-1444-	校物品等管理事務事業				76	■務事業=					1	10,002	737313	
	総計に基	づく	(29年度)	小中子	版調である		継続・	継続	'n	定・「」		421-0 務的なもの)		H29	教育総務	課	130 数	育総務課
	事業の進捗		推を・何を)				新規	12.00	_	3 冶		(28年度実施		最終			二次評価対	
2	事務事業の 概要	ı	目的	小中学	校の適正かつ円滑な運営管理 快適で安全な学校生活を提供		児童・生	徒及び利			評価・)方向性	改善して継	続 各視	息点か	- Λ 5π /π	当性 A	有効性	効率性 A
	194.30		手段 業内容)	学校備	品の購入						業費 負担額) 単位:千F		建決算名 45,70 44,83	3		初)予算額 44,848 44,348	30年度 実施の 方向性	実施
	事務	事業名	2	小中学	校保健衛生等高務高業				19	■務事業=	1—K	421-0	2-03]			
	総計に基金事業の進捗	づく	(29年度)	A	順調である		継続・ 新規	継続	72	-			担当	H29	学校教育	課	130 学	校教育課
	争来07進抄		推を・何を)	羽曳野				教職員			業評価	(28年度実施	事業)	最終	結果		二次評価対	対象事業
3	事務事業の概要		目的たいのか)		生徒、教職員の健康保持・増進 ・の医療費負担軽減	堂校教育	の円滑	な実施、			評価・)方向性	現状維持	告 各被	点か	の無体	当性 A	有効性	効率性 A
	<i> </i>		手段 業内容)	健康診	断、各種検診、学校環境検査、	、災害共済	F給付				「業費 負担額) 単位: ←F		建決算 額 65,70 62.34	3		初)予算額 72,799 68.705	30年度 実施σ 方向性	実施
	車数	事業名	,	小中学	校図書館支援事業				78	■務事業=		421-0			1	,	, , , , , , , ,	
	総計に基	づく	(29年度)	A	版調である		継続・ 新規	継続	洁	·		務的なもの)		H29	学校教育	課	130 🛱	校教育課
	事業の進捗		推を・何を)				451750		H.	376		(28年度実施					二次評価が	
4	事務事業の	事業の (どうしたいのか			人間性を広げるために不可欠な	図書館教	で育を充	実させる。			評価・)方向性	現状維持	告 各被	息点か	この評価	当性 A	有効性	効率性
	似女	勝事業の 概要 「どうしたいのか」 手段 (事業内容)			システムの保守や運営支援、 そどもたちの読書活動の環境を		事業をす	ナすめるこ			業費 負担額) 単位:千F		建決算名 45,75 45,75	9	29年度(当	初)予算額 54,570		実施

基	本事業名	教育内容の充っ	Ę			対 (誰を・		児童及び	び生徒					
	基本事業 コード	421-03			基本事業の 概要	目 (どうした		基礎学力	カ、体力の向上。	と豊かな	人間性の育り	成を図る。	,	
施	欠羽曳野市総 策目標	4 未来に羽		ども・若者を育むまち				計標名		単位	H28.4時点		年度	32年度
	策 策の方向		」」を育む	教育の推進	総合基本計画		11	11余12		平世 現	!状値(総計)	9	E 積	目標(総計)
	ちづくりの 略	(2)だれ	もが安心	を活かしたまちづくり ・安全に暮らせるまちづくり)活力と成長に向けたまちづくり	目標指標									
	事務	事業名		英語サポート事業			事務事	業コード	421-03-0	D1]	1	l .	
	総計に基 事業の進捗	づく :状況 (29年度	_	達成-終了	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任	任意のもの) 担語	当 H29 特	』 命プロジェク	トチーム	нзо 特命プロ	ジェクトチーム
1		対象(誰を・何を)	実施希	望のあった小学校の5、6年生り	記童		29年度事	務事業評価	(28年度実施事	業) 最終		5 Mr 94	二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	市内児 向上を	童の国際意識および外国語での 図る。)コミュニケーシ	ョン能力の		合評価・ 後の方向性	改善して継続	各視点から	- Λ. ST. /III	B B	_{有効性} B	効率性 B
		手段 (事業内容)		堪能な市職員が、2週間に1回 授業のサポートを行う。	程度学校に訪問	し、小学校		総事業費 5市負担額) 単位:千円		算額 2,218 2,218)	29年度(当	初)予算額 1,111 1.111	30年度 実施の 方向性	-
	事務	事業名	ICT教育	下推進事業			事務事	業コード	421-03-0	02	1	-	<u>, </u>	
	総計に基事業の進捗	づく :状況 ^{(29年度}	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(義	務的なもの)担	¥ H29	教育総務	課	H30 教 ī	育総務課
2		対象(誰を・何を)	児童及	び生徒	•		29年度事	務事業評価 ((28年度実施事業	業) 最終		an Id	二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	ICT教育 る。	育環境の充実を図り、児童及び	主徒のICT活用	能力を高め		合評価・ 後の方向性	現状維持	各視点から	の転送	A A	有効性 B	効率性 A
		手段 (事業内容)	コミュニ	進事業に基づきICT教育の環境 -ケーション技術)教育とは、情報	技術を用いて、	学習者に		総事業費 5市負担額)		,540		26,521	実施の	実施
	nto 20	r the alle. At		コミュニケーション環境を提供し	たっとする教育を	につ。		単位:千円		5,540)	<u> (</u>	26,521) 方向性	
	総計に基	語業名 づく (29年度	ALIE	活用した外国語教育推進事業 順調である	継続・	継続	法定・	業コード 自治事務(日	421-03-0	当 H29	学校教育	:課	H30 学	交教育課
	事業の進捗			 市立小中学校 児童・生徒・教服	新規 新規		自治 29年度事		(28年度実施事	-	結果		二次評価対	象事業
3	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		生徒の言語や発音の向上や、英 育成を図るとともに、国際理解を		ニケーション		合評価・ 後の方向性	現状維持	各視点から	の転車	^接 当性 A	有効性	効率性 A
	概要	手段	•英語(に慣れ親しむ場面での活用・英語 指導・外国の文化や行事、生活	5の音声指導や		#	総事業費 6市負担額)	28年度決	算額 .147	29年度(当			実施
		(事業内容)	動					単位:千円	<mark>円</mark> (10),970)	7	11,587	方向性	
	総計に基		人権教	育推進事業順調である	継続・	継続	法定・	業コード	421-03-0 務的なもの)担		学校教育	:=#	нзо 🚓	交教育課
	事業の進捗	-		中学校教職員、市人権教育研究	新規 『会	神性神化	自治 29年度事		(28年度実施事			杯	二次評価対	
4	事務事業の	目的(どうしたいのか)	各小中 幼稚園	学校における人権に関する校内・小中学校の子どもたちが安心	i研修を充実させ して学校生活を	せることで、 送れる環		会評価・ 後の方向性	現状維持	各視点から	の転送	当性 A	有効性	効率性 A
	概要	手段	現(人作	をが尊重された学校園づくり)をと 修への講師招聘にあたり、謝礼	<u> </u>		#	総事業費 6市負担額)	28年度決	算額 ,389	29年度(当			実施
		(事業内容)	ועוניוצו	100 / CODE# EIL/1日 421 / COD/ こうく 1031 J.C.	の文版とする。			単位:千円		,389)	(1,367	方向性	关池
	事務総計に基	S事業名		中一貫教育推進事業	継続・	Ante de+	事務事: 法定·	業コード	421-03-0		W 14 44 44			A del per em
	事業の進捗	状況 (29年度	A 羽电野	■ 順調である 市立幼稚園、小・中学校および!	新規	継続	自治		任意のもの) 担当 (28年度実施事業		学校教育	課	二次評価対	交教育課 象 事業
5	事務事業の	目的	幼小中1	1か年に加え保育園での活動も関連付け、教科学力・学びの基礎力等を関連付	ナ、中学校区で「め	ざす子ども像」 人ひとりの「生	総	合評価・	現状維持		妥の無体	当性	有効性	効率性
	概要	(どうしたいのか) 手段	きるカ」を全中学	を育成することを目的とする。 校区において、各中学校区の特	性を活かした係	· · · · · · · · · · · · · ·	#	後の方向性 総事業費	28年度決	算額	29年度(当			A
		(事業内容)		を推進する。また、横断的なモラ の段差等を軽減する。	・ルカリキュラム	を作成し、	(つち	5市負担額) 単位:千円		5,726 5,726)	(5,761 3,830	実施の 方向性	実施
		§事業名	姉妹校	交流助成事業	AN A+			業コード	421-03-0)6				
	総計に基事業の進捗	状況 (29年度	A ====================================	順調である	継続・ 新規	継続	法定・自治	自治事務(任		当 H29	学校教育	課		交教育課
6		対家(誰を・何を)		市立白鳥小学校 5年生・6年生					(28年度実施事業		妥	当性	二次評価対 有効性	家事業 効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)		人間性を育むとともに、地域に記		÷	今後	後の方向性 総事業費	現状維持 28年度決		29年度(当	人 初)予算額	A 30年度	Α
		手段 (事業内容)		安来市赤江小学校の児童・教職 交流を行う。 	減•'休護者と白	烏伝説を		5市負担額) 単位:千円		324 324)	(325 325	実施の方向性	実施
		事業名	小規模	校における外国語活動合同開催事				業コード	421-03-0)7				
	総計に基事業の進捗	状況 29年度	A	順調である	継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任	1	当 H29	学校教育	課		交教育課
7		対象(誰を・何を) 目的	小学校	市立駒ヶ谷・古市南・西浦東小雪 小規模校において、外国語活動	を中心とした交	流事業を		務事業評価 (合評価・	(28年度実施事業		妥	当性	二次評価対有効性	象事業 効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	の集団	小規模の学校生活では経験でき 生活の中で社会性を育む。			今後	を	28年度決	各視点から 算額	5の評価 29年度(当	初)予質刻	30年度	
		手段	任数回	交流を実施。ALT等を活用し、ダ	(宝宝五/茶宝)太。	あじた中央			干汉八			1 21 1 0	- JU-19	

基	本事業名	クラブ	舌動等の	活性化	推進			対 (誰を		児童及	び生徒					
	基本事業 コード 次羽曳野市総	合基本	421-04 計画			ž	基本事業の 概要	目 (どうした	的 :いのか)	心身の	健全な育成を	と図る。				
	策目標		未来に羽 学校教育	ぱたく子	-ども・若者を育むまち					指標名		単位	H28.4时 現状値(総		29年度 実績	32年度 目標(総計)
ま	策の方向 ちづくりの 略	0	(1)羽曳! (2)だれ -	野の資源 もが安心	ご教育の推進 原を活かしたまちづくり か・安全に暮らせるまちづく D活力と成長に向けたまち	IJ	合基本計画 目標指標									
	事務	事業名	i	大会出	場等助成事業				事務事	事業コード	421-0	4-01				
	総計に基 事業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	教育	総務課	H30 教i	育総務課
1		対象(記	誰を・何を)	生徒及	なび引率教職員		•		29年度	· 移事業評価	(28年度実施	事業) 』	最終結果		二次評価対	
	事務事業の概要		目的 たいのか)		活動経費の一部を助成、クラブ活動を奨励する		らり、生徒の優	建全な心身		総合評価・ 後の方向性	現状維持	寺 各視点	いらの評価	妥当性 A	有効性	効率性 A
			F段 (大字)	学校総	Eがクラブ活動で、日本に 総合体育大会及び近畿に 総合体育大会に出場した	中学校体育	連盟が主催す	る近畿中	(-	総事業費 5ち市負担額) 単位:千		度決算額 655 655) (E(当初)予算 870 870	実施の	実施
	事務	事業名	i	中学校	ブラスパンド助成事業				事務事	事業コード	421-0	4-02				
	総計に基 事業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定• 自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	教育	総務課	H30 教育	育総務課
2		対象(記	誰を・何を)	中学校	をブラスバンド部				29年度	事務事業評価	(28年度実施	事業) 記	最終結果		二次評価対	
	事務事業の概要		目的 たいのか)	クラブ	活動の活性化を図る。					総合評価・ 後の方向性	現状維持	寺 各視点	いらの評価	<u>妥当性</u> A	有効性	効率性 A
			手段 集内容)		でのブラスバンド部用楽 育委員会後援で市内6				(-	総事業費 うち市負担額) 単位:千		度決算額 1,159 1,159	29年月	E(当初)予算 3,274 3,274	実施の	実施
	事務	事業名	i	部活動	指導者派遣事業				事務署	事業コード	421-0	4-03				
	総計に基準業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	学校	教育課	H30 学	交教育課
3		対象(記	誰を・何を)	羽曳野	予市立中学校 生徒				29年度	事務事業評価	(28年度実施	事業) 記	最終結果		二次評価対	象事業
•	事務事業の 概要		目的 たいのか)	部活動	かの充実及び教員の資質	質向上を図る	5.			総合評価・ 後の方向性	現状維持	寺 各視点	いらの評価	妥当性 A	有効性	効率性 A
			手段 美内容)		こ在住のスポーツ指導者 ・協力しながら、部活動				(-	総事業費 うち市負担額) 単位:千		度決算額 689 689	29年度	E(当初)予算 673 673	実施の	実施
	事務	事業名	i	クラブネ	舌動助成事業				事務署	事業コード	421-0	4-04				
	総計に基事業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	学校	教育課	H30 学	交教育課
4				羽曳野	みまたい 中学校 児童・	生徒				事務事業評価	(28年度実施	事業)	最終結果	妥当性	二次評価対	象事業 効率性
	事務事業の 概要		目的 たいのか)		生徒の心身両面での健					総合評価・ 後の方向性			からの評価	Α	Α	A
			F段 集内容)	童・生	後、休日を利用して活動 徒が興味関心を持つこ。 :越えて、同じ目標に向	とができるク	ラブを設定し		(-	総事業費 うち市負担額) 単位:千		変決算額 7,501 7,501	29年度	E(当初)予算 7,509 7,509	実施の	実施

基	本事業名	きめ細やかな勢	育支援				象 ·何を)	児童及び	び生徒					
	基本事業 コード	421-05			基本事業の 概要		的 :いのか)	さまざま	な教育課題に	対応可能	な支援体制の	0充実を図	3 る。	
施	欠羽曳野市総 策目標	4 未来に羽		ども・若者を育むまち			指标	票名			H28.4時点		丰度	32年度
	策 策の方向		」を育む	教育の推進 を活かしたまちづくり	総合基本計画 目標指標					251	!状値(総計)	実	視	目標(総計)
	ちづくりの 略	O (2)だれ	もが安心・	を出かしによら J くり ・安全に暮らせるまちづくり 活力と成長に向けたまちづくり	口1示1日1示									
	事務	· 第業名		国人児童生徒適応支援事業			事務事業	コード	421-05-	01	1	1		
	総計に基事業の進捗	づく 5状況 (29年度	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(伯		当 H29	学校教育	課 H	30 学	校教育課
1		対象(誰を・何を)	日本語	指導が必要な児童・生徒及び保	R護者	•	29年度事務	事業評価	(28年度実施事	業) 最終	結果		二次評価対	村象事業
Ċ	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		もない児童・生徒の、生活するが 日本語)の習得支援および、母		本語(サバ		☆評価・ の方向性	現状維持	各視点から	の転車	当性 A	有効性	効率性 A
	176.50	手段 (事業内容)	通訳及7	び日本語指導				事業費 5負担額) 単位:千F		等額 5,402 5.402)		初)予算額 13,321 13,321	30年度 実施の 方向性	実施
	事務	8事業名	不登校リ	R童生徒適応指導事業			事務事業	Г	421-05-		1	13,321	/ <u>/ / / </u>	
	総計に基事業の進捗	づく (29年度	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定・自治	自治事務(義	務的なもの) 担	当 H29	学校教育	課 出	30 学	校教育課
	ず木りたり	対象(誰を・何を)	不登校!	L	471796			事業評価	(28年度実施事	業) 最終	結果		二次評価対	付象事業
2	事務事業の	目的 (どうしたいのか)		児童・生徒の学校復帰をめざし 適応力を育成する。	、小集団活動を	通じて、集		計画・ の方向性	現状維持	各視点から	の御本	当性 A	有効性	効率性 A
	概要	手段(東番中宮)	①学校。	と連携した学習支援②料理やス		舌動などの		事業費	28年度決	等額 9,680	29年度(当		30年度 実施の	
		(事業内容)	体缺沽	動③本人・保護者との相談活動	J			単位: 千F	9 (9,588)	1	9,998	方向性	
	事務 総計に基	等事業名	教育相關		継続・		事務事業 法定·		421-05-					
	事業の進捗	大況 (ZS+F)	A 羽电野i	順調である 市立 幼稚園、小中学校の園児	新規	継続 75保護者	自治			当 H29	学校教育		<u> </u>	校教育課
3		対象(誰を・何を)	教職員	育活動等における児童及び生					(28年度実施事	業) 最終		当性	二次評価対	対象事業 効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	するため	か、専門的な知識を有する者を 職員に対してカウンセリング等	相談員として設			計価・ D方向性	現状維持	各視点から	4	Α	Α	Α
		手段 (事業内容)		、児童、生徒の保護者に対し、3 応じる②教職員に対し、来室ま な				事業費 5負担額) 単位:千F		算額 2,219 2,219)	29年度(当	初)予算額 2,318 2,318	30年度 実施の 方向性	実施
	事務	8事業名	進路選択	R支援事業			事務事業	コード	421-05-	04	1			
	総計に基	づく (20年度	進路選拔	R支援事業 順調である	継続・新規	継続	注字.			04 当 H29	学校教育	課 H	30 学	校教育課
		づく ジ状況 (29年度	Α			継続	法定· 自治	自治事務(信		当 H29			30 学 二次評価文	
4	総計に基事業の進捗	づく 状況 (29年度 対象(誰を・何を)	A 羽曳野i	順調である	新規		法定· 自治 29年度事務:	自治事務(信	任意のもの) 担	当 H29 業) 最終	結果 妥			対象事業 効率性
4	総計に基事業の進捗	が 状況 (29年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段	A 羽曳野i 経済的な	である 市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 況および相談内容に応じて、適	新規とがないように	支援する。	法定·自治 29年度事務: 総合 今後(自治事務(任 事業評価・ 分方向性 事業費	任意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度汐	当 H29 業) 最終 各視点から	結果 妥	当性 A 初)予算額	二次評価文 有効性 A	対象事業 効率性 A
4	総計に基事業の進捗	対象 (誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 羽曳野i 経済的な	■関である 市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ	新規とがないように	支援する。	法定·自治 29年度事務: 総合 今後(自治事務(任事業評価 計評価・ の方向性	王意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度デ	当 H29 業) 最終 各視点から	受の評価	当性 A	二次評価文 有効性	対象事業 効率性 A
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ の ・ ・ の の の の の の の の の の の の の	A 羽曳野i 経済的が 家庭状だきについ	である 市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 況および相談内容に応じて、適	新規とがないように:	支援する。	法定・ 自治 29年度事務: 総合 今後((うちで 事務事業	自治事務(名 事業評価・ の方向性 事業費額) 単位:千斤	王意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度デ	当 H29 業) 最終 各視点から 全算額 1,769 1,143)	受の評価	当性 A 初)予算額 1,834	二次評価求有効性 A 30年度	対象事業 効率性 A
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A 羽曳野i 経済的が家庭状だきについ	東調である 市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 記および相談内容に応じて、適いて案内する。	新規 とがないように 切な奨学金の 雑糖・新規	支援する。 舌用や手続 継続	法定・ 自治 29年度事務 総合 今後 総元 (うち である) ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	自治事務(計事業計価・ か) 方向性 事業費額 単位:干F	任意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度3 g (421-05- 任意のもの) 担	当 H29 業)最終 各視点から 算額 1,769 1,143) 05	を結果 妥の評価 29年度(当) (当性 A 初)予算額 1,834 1,208	二次評価文 有効性 A 30年度 実施の 方向性	対象事業 効率性 A 実施
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 状況 (28年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	A 羽曳野が経済的が家庭状だきについた。 大きについた。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 況および相談内容に応じて、適いて案内する。 自由児療育支援事業 「瞬間である 市立小中学校に在籍する、障が	新規 とがないように 切な奨学金の が 機械・ 新規 がいのある児童	支援する。 舌用や手続 継続 ・生徒	法定・ 自治 29年度事務 総合 今後 (うち下 事務事業 法自治 29年度事務	自治事務(船・ ・計画・ ・計画・ ・計画・ ・計画・ ・計画・ ・計画・ ・計画・ ・計	任意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度分 引 (421-05-	当 H29 業)最終 各視点から 算額 1,769 1,143) 05	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	当性 A 初)予算額 1,834 1,208	二次評価求 有効性 A 30年度 実施の 方向性	対象事業 効率性 A 実施
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 状況 (28年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	A 羽曳野i 経済的が家庭でいた。 R は本不能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市立中学校 生徒・保護者 お立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ におよび相談内容に応じて、適いて案内する。 自由児療育支援事業 関門である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不自由児をはじめ、隣	新規 とがないように 切な奨学金の 総続 新規 がいのある児童 がいのある児童 がいのある児童 がいのある児童 がいのある児童	支援する。 舌用や手続 継続 ・生徒 童・生徒に と均等を図	法定・ 自治 29年度事務 総合 今後 (うち 下 1 1 1 1 1 1 1 1 1	自治事務(計事業計価・ か) 方向性 事業費額 単位:干F	任意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度3 円 (421-05- 任意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持	当 H29 業) 最終 各視点から 算額 1,769 1,143) 05 当 H29 条 長終	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	当性 A 初)予算額 1,834 1,208	二次評価文 有効性 A 30年度 方向性 二次評価文 有効性	対象事業 効率性 A 実施 校教育課 対象事業
	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進物	づく 状況 (28年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	A 羽曳野のが家きになっている。 おりなるでは、いいので	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 況および相談内容に応じて、適 な理由で、進学等を断念するこ 況および相談内容に応じて、適 自由児療育支援事業 環調である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不自由児をはじめ、関 円滑な就学と教育の実施に努 学校、峰塚中学校をセンター校 記1回、機能訓練士を派遣する。	新規 とがないように 切な奨学金の	支援する。 舌用や手続 継続 ・生徒 章均 をを定め ・生徒にの では、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	法定・ 自治 29年度事務	自治事務(作 事業評価・ か)方費担額(カード 事有負担値・干 日 コード 自治事務(作 事業評価・性 事業担額)	任意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度別 (28年度別 (28年度実施事 現状維持 28年度実施事	当 H29 業) 最終 各視点から 1,769 1,143) の5 当 H29 各視点から 第額 4,797	#	当性 A 初)予算額 1,834 1,208 課 課 当性 A 初)予算額 23,658	二次評価文 有效性 A 30年度 方向性 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	対象事業 効率性 A 実施 校教育課 対象事業 効率性 A
	総計に基 事業の進材 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進材	が 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 事段内容) 番事業名 対象(誰を・何を) 大児 (28年度 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業内容)	A 羽曳野のおりでは、 おります。	市立中学校 生徒・保護者 お中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 記および相談内容に応じて、適 はの大変を表 自由児療育支援事業 「関係である 市立小中学校に在籍する、降が はの肢体不自由界をはじめ、関 円滑な就学と教育を表した。 はの、関係を表した。 はの、関係に対 に対 に	新規 とがないように 切な奨学金の	支援する。 舌用や手続 継続 ・生徒 章均 をを定め ・生徒にの では、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	法定・ 自治 29年度事務 総合 今後 (うち市 事務事業 法定・ 29年度事務 総合 後 (うち市	自治事務(作 事業評価・性 か)カテ教費額(単位・干) 自治事業評価・性 事業評価・性 事業評価・性 事業評価・性 事業課価・性	任意のもの) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度別 (28年度 (28年度実施事 現状維持 28年度 現状維持 28年度 9 (28年度実施事	当 H29 業) 最終 答視点から 算額 1,769 1,143) 05 業) 最終 各視点から 4,797 4,249)	#	当性 A 初)予算額 1,834 1,208 課 課 当性 A	二次評価x 有效性 A 30年度施の 方向向性 30年度 不力性 A 30年度 30年度 30年度 30年度	対象事業 効率性 A 実施 校教育課 対象事業 効率性 A
	総計に基 事業の進材 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段内容) 本業名 が表別では、(29年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段内容)	A 羽曳野のおりでは、 おります。	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 況および相談内容に応じて、適 な理由で、進学等を断念するこ 況および相談内容に応じて、適 自由児療育支援事業 環調である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不自由児をはじめ、関 円滑な就学と教育の実施に努 学校、峰塚中学校をセンター校 記1回、機能訓練士を派遣する。	新規 とがないように 切な奨学金の 雑様 新規 がいのある児童 がいのある児童 がい教育の機会 と位童・生徒の多 収金・流行事の	支援する。 舌用や手続 継続 ・生徒 章均 をを定め ・生徒にの では、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	法定・ 自治 29年度事務 総合 (うち 5 5 5 5 5 5 5 5 5	自治事務(作 事業評価・ 計評価・ 計算の 一 計算の 単位・干 自治事務(作 事業担額) 単位・干 の 力・ の の の は 事業担額 単位・干 の の の に の に の に の に の に の に り の に り の り の	日 (28年度実施事 現状維持	当 H29 業) 最終 答視点から 算額 1,769 1,143) 05 業) 最終 各視点から 4,797 4,249)	#	当性 A 初)予算額 1,834 1,208 課 選性 A 初)予算額 23,658 22,775	二次評価文 有効性 A 30年度 方向性 次方向性 不 名 次 有効性 A 30年度 の 方向性 名 名 の 年 の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の	対象事業 効率性 A 実施 校教育課 対象事業 効率性 A
5	総計に基 事業の進物 事務事業の 概要 事務事業の 機関 事務事業の 概要	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段内容) 本業名 が表別では、(29年度) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段内容)	A 羽鬼野のが状でした。 おります。	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ におよび相談内容に応じて、適 いて案内する。 由児療育支援事業 瞬間である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不自由児をはじめ、障 円滑な就学と教育の実施に努 学校、峰塚中学校をセンター校 は1回、機能訓練士を派遣する。 レバスを運行する。市内支援学 数育推進事業 瞬間である 市立小中学校に在籍する、教育	新規 とがないように 切な奨学金の 雑誌・新規 パいのある児童 がいのある児童 がいのある児童 がいのある児童 がいのある児童 がいのある児童 がいのある児童 をがいのある児童 をがいのある児童 をがいのある児童 をがいのある児童 をがいのある児童 をがいのある児童	支援する。 舌用や手続 継続 ・生徒 徒を配 置めて で 記 で で ま で で ま で で ま で か 手 で で ま で か で で ま で で で で で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で	法定・ 自治 29年度事務 総合 今後 (うち下 事務事業 法定・ 自治 20年度事務 会後 総 (うち下	自治事務(作 事業評価・ か) 方 方 章 担値・干 所	日 (28年度実施事 現状維持	当 H29 業) 最終 各視点から 第額 1,769 1,143) 05 当 H29 各視点から 4,797 4,249) 06	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	当性 A 初)予算額 1,834 1,208 課 当性 A 3,658 22,775	二次評価文 有効性 A 30年度 方向性 次方向性 不 名 次 有効性 A 30年度 の 方向性 名 名 の 年 の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有効性 A の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の 有 の	
	総計に基 事務事業の 概要 事務事業の 機要 事務事業の 機器 事務事業の を総計に基 事務事業の を総計に基 事務事業の	が表現 (29年度 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段 (事業内容) が表現 (29年度 対象(誰を・何を) 手段 (どうしたいのか) 手段 (どうしたいのか) 手段 (どうしたいのか) ・	A 羽 経 家舎	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ におよび相談内容に応じて、適 いて案内する。 由児療育支援事業 瞬間である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不自由児をはじめ、障 円滑な就学と教育の実施に努 学校、峰塚中学校をセンター校 は1回、機能訓練士を派遣する。 レバスを運行する。市内支援学 数育推進事業 瞬間である 市立小中学校に在籍する、教育	新規 とがないように 切な奨学金の 雑様・ 新規 がいのある 見・ がい、教育の 機会 と位産・生徒 の多 を位産・生徒 の多 に現 のの多 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	支援する。 舌用や手続 ・生徒・生等を配置のの下充実を配置を必要とす。 継続 ・生をを配置を対している。 ・生をを配置を必要とする。	法定・ 自治 29年度事務 総合	自治事務(作 事業評価・ か) 方 方 章 担値・干 所	日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 5 日 (28年度 5 日) 日 (28年度 7 日) 日 (28年	当 H29 業) 最終 各視点から 1,769 1,143) 05 当 H29 等額 4,797 4,249) 06 当 H29 業) 最終	#結果	当性 A 初)予算額 1,834 1,208 課 当性 A 初)予算額 23,658 22,775 課	二次評価本 有効性 A 30年度の 方向性 30年度の 方向性 A 30年度の 方向性 A 30年度の 方向性 A 30年度の で 方向性 A 30年度の で 方向性	
5	総計に基 事業の進材 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(離を・何を) 対象(離を・何を) (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業内容) (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業内容)	A 羽経 家き 技体 A 野 在て、小・過川 羽 市対る西すス 内 見見 該・育 A 野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 記および相談内容に応じて、適 は用ので、進学等を断念するこ におよび相談内容に応じて、適 はの表情すると はの肢体不自由児をはじめ、関 である では、修塚の一学校に在籍する、障が、にのなながである。 「はいて来内する。 はのは体不自由児をはじめ、関 である では、修塚の一学校をセンター校。 はのは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	新規 とがないように 切な奨学金の 雑様規 がいのある 規全 がい、教育の 付けの 登が、教育 上付の のを 、 を 、 を 、 を 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、	支援する。 舌用や手続 ・生産・均量を放実をできる。 を接続・生物である。 ・生産・均量を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	法定・ 129年度事務	自治事務(名) 事業 師 一性 事務(名) 事業 師 一性 事務(名) 事業 師 一性 事務(名) 事業 師 一性 事務(名) 事業 師 一性 事業 評 所 一世 事業 評 所 一世 事業 評 所 一世 事業 評 の 事業	日 (28年度実施事 現状維持 28年度) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度) 2 4 21-05-日意のもの) 担 (28年度実施事) (28年度)	当 H29 業) 最終 各視点から (算額 1,769 1,143) 05 当 H29 を視点から 4,797 4,249) 06 当 H29 を視点から を視点から を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発点がら を発えるが を発えるが をとが をとが をとが をとが をとが をとが をとが をと	#結果	当性 A 初)予算額 1,834 1,208 課 選 性 A 初)予算額 23,658 22,775 課 当 性 A 初)予算額 6,612	 二次評価メイカ () () () () () () () () () (対象事業
5	総計に基 事務事業の 概要 事務事業の 機器計に基 事務事要 総計に基 事務事要 の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) はつしたいのか) (ようしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) が決況 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業内容)	A 羽経 まき B 内 内 B 内 内 B 内 内 B 内 内 B 内 内 B 中 上 B 中 上 B 中 上 B 中 上 B 中 上 B 中 上 B 日 日 B 日 日 B 日 日 B 日 日 B 日 日 B 日 日 B 日 日 B 日 日 B 日 日 B 日 日 B 日 日 日 B 日 日 日 B 日 日 日 B 日 日 日 B 日 日 日 日 B 日 日 日 日 日 B 日 日 日 日 日 日 B 日 日 日 日 日	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 記および相談内容に応じて、適 は、変内する。 由児療育支援事業 瞬間である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不自由児をはじめ、障所では、対して、でででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	新規 とがないように 切な奨学金の 雑様規 がいのある 規全 がい、教育の 付けの 登が、教育 上付の のを 、 を で 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を 、 を	支援する。 舌用や手続 ・生産・均量を放実をできる。 を接続・生物である。 ・生産・均量を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	法定・ 自治 29年度事務 会後 (うち	自治事務(作・性・ 事・ 評・ 一・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日 (28年度実施事 現状維持 28年度実施事 現状維持 28年度 第 3 2 3 4 2 1 - 05 - 1	# H29 # A R R R R R R R R R R R R R R R R R R	#	# 当性	 二次評価メイカ () () () () () () () () () (対象事業
5	総計に基 事業の進材 事務事業の 総計に基 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の	対象(離を・何を) 対象(離を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(離を・何を) 大規模 対象(離を・何を) 対象(離を・何を) (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名	A 別経家き	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 記および相談内容に応じて、適 はの形像育支援事業 関調である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不自由児をはじめ、隣 学校、峰塚中学校をセンター校 別1回、機能訓練士を派遣する。 しバスを運行する。市内支援学 数育推進事業 関調である 市立小中学校に在籍する、教育 生徒に対して適切な教育 生徒に対して適切な教育 特別な支援を必要とする児童・ 接(こ支援教育支援員を配置す 持別な支援を必要とする児童・ 技(こ支援教育支援員を配置す ・技(こ支援教育支援員を配置す ・技(こ支援教育支援員を配置す・ 大人に支援教育支援員を配置す・ ・技(こ支援教育支援員を配置す・ ・技(こ支援教育支援員を配置す・ ・技(こ支援教育支援)	新規 とがないように 切な奨学金の 「概様 新規 がいのある児童 さがいのあるの機会 がいのあるの機会 がいのあるの機会 がいのあるの機会 がいのあるの機会 がいのあるの機会 がいな支援 を行け合称を 新規 を対して、 です。 を行うなる。 を接教育)を行る。 を接教育)を行る。 を接教育)を行る。 を接教育)を行る。 を接教育)を行る。 を接教育)を行る。 を持たの。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	支援する。 ・ 生 生 生 等 を 配 時 を で う 。 長 長 援 ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま	法定・ 自治 29年度事務 会後 (うち 75 75 75 75 75 75 75 7	自治事務(作 性 事 評 価 向 費 額 千 下 番 に	日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 5 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 5 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 5 日 (284年度 5 日 (2844年度 5 日 (2844年) (2844年度 5 日 (2844年) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28	当 H29 業) 最終 各視点から 1,769 1,143) 05 当 H29 各視点から 4,797 4,249) 06 当 H29 業) 最終 各視点から 第額 4,797 4,249) 06 3	Yeb Ye	課 当性 A 初)予算額	 二次評価が A 30年度の 第次方向 学 本評価が 本評価が 本の 本の 本の 本の 本の 本の を 本の を <	
6	総計に基 事務事業の 概要 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の 機器 事務事業の を記述 事務事業の を記述 を記述 を記述 を記述 を記述 を記述 を記述 を記述 を記述 を記述	が、 (28年度 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 が状況 (28年度 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名 (どうしたいのか) 事業名	A 羽 経 家き 肢 体 A 野 市対る西すス 特別 A 野童 か 小教行 ほん A 野童 の 学上支 A 野童 の 学上支 A	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 記および相談内容に応じて、適 は、変内する。 由児療育支援事業 瞬間である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不自由児をはじめ、障所では、対して、でででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	新規 とがないように 切な奨学金の 雑様 新規 がいのある。現立 を対して、 を表	支援する。 舌用や手続 ・生産・均量を放実をできる。 を接続・生物である。 ・生産・均量を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	法定・	自治事務(作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 5 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 5 日 (28年度実施事 現状維持 28年度 5 日 (284年度 5 日 (2844年度 5 日 (2844年) (2844年度 5 日 (2844年) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28444) (28	当 H29 業) 最終 各視点から 第額 1,769 1,143) の5 業) 最終 各視点から 4,797 4,249) の6 当 H29 各視点から 5,789) の7 当 H29 日 H29	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	当性 A 初)予算額 1,834 1,208 課 当性 A 初)予算額 23,658 22,775 課 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選 選	 二次評価が A 30年度の 第次方向 学 本評価が 本評価が 本の 本の 本の 本の 本の 本の を 本の を <	
5	総計に基 事業の進材 事務事業の 総計に進材 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の 機関 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) が状況 (29年度 対象(誰を・何を) が状況 (29年度 対象(誰を・何を) ・事業名 が状況 (29年度 対象(誰を・何を)	A 羽経 家き 肢体 A 野 所 現り 所の 所の 所の 所の 所の 所の 所の 別の 日本の 日本	市立中学校 生徒・保護者 お立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 記および相談内容に応じて、適 はいて案内する。 自由児療育支援事業 「関節である 市立小中学校に在籍する、障が 住の肢体不中自由児をはじめ、時間である。 市立小中学校をセンターで。 はいスを運行する。市内支援学 数育推進事業 「関節である 市立小中学校に在籍する、教育 生徒に対して適切な教育す 生徒に対して適切な教育す 生徒に対して適切な教育す 生徒に対して適切な教育す を校に支援教育支援とする児童・ 技に支援教育支援を必要と クール支援員事業 「関節である 市立小中学校 児童・生徒 と、支援教育充実、不登校・い	新規 とがないように 切な奨学金の がいのあるの規 がいのあるの規 がいのあるの規 がいのあるの規 がいのか がのが がいのが がのが がのが がのが がのが がのが がのが がのが がの	支援する。 舌用や手続 ・生・等・を対 員下充実を必ず う。 員支援・する。 ・・童・対 員下充実 継続・すった と生活を必ず は援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	法定・	自事業評価・性 事類価・性 事類価・性 事類価・性 事類価・性 事類値 一 一 治 業 評 価 向 費額 千 一 一 治 業 評 価 向 費額 千 一 一 治 業 評 価 に 性	日 (28年度実施事 現状維持 28年度 3 日 (284年度 3 日 (2844年度 3 日 (2844年度 3 日 (2844年) (2844	当 H29 業) 最終 各視点から 第額 1,769 1,143) 05 当 H29 素) 最終 各視点から 4,249) 06 当 H29 3 4,249) 07 3 4 4 4 4 5,789) 5,789) 6 4 4 4 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	当性 A 初)予算額 1,834 1,208 課 当性 A 初)予算額 23,658 22,775 課 出 当性 A 初)予算額 (1,008) 課 出 当性 (1,008) 課 出 計 (1,008)	 二次評価タイク (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	
6	総計に基 事業の進材 事務事業の 総計に基 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の 機関 事務事業の	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業名 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) が状況 (29年度 対象(誰を・何を) が状況 (29年度 対象(誰を・何を) ・事業名 が状況 (29年度 対象(誰を・何を)	A 野 的 状つ 不 は	市立中学校 生徒・保護者 な理由で、進学等を断念するこ 記および相談内容に応じて、適 はの服育支援事業 関調である 市立小中学校に在籍する、障が はの肢体不自由児をはじめ、 野校、峰塚中学校をセンター校 別1回、機能訓練士を派遣する。 ・ 大人を運行する。市内支援学 教育権進事業 関調である 市立小中学校に在籍する、教育 生徒 児童・生徒に対して適切な教育 特別な支援を必要とする児童・ 特別な支援を必要とする児童・ 特別な支援を必要とする児童・ 「大人に支援教育支援員を配置す 特別な支援を必要とする児童・ 「大人に支援教育支援員を配置す 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に支援教育支援員を配置する。」 「大人に対して適切な教育」 「大人に対していませ、大人に対しないませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対していませ、大人に対しないは、対しないは、対しないは、大人に対しないませ、大人	新規 とがないように 切な奨学金の 総裁規 がいのあるある機会 のがい教育では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	支援する。 ・生産均量下の ・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	法定・	自 事業 評価・性 事務 価・性 一・ 事務 価・性 ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日 (28年度実施事 現状維持 28年度) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度) 担 (28年度実施事 現状維持 28年度) 2 (28年度実施事 現状維持 28年度) 1 (28年度) 1	当 H29 業) 最終 各視点から 第 1,769 1,143) 05 当 H29 素) 最終 各視点から 第 4,797 4,249) 06 当 H29 各視点から 5,789) 5,789) の7 当 H29 名視点から 各視点から 名視点から 名視点から 名視点から 名視点から 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから 名相のから るものから るりのから	### ### ### ### ### ### ### ### #### ####	当性 A 70) 予算額 1,834 1,208 課 当性 A 70) 予算額 23,658 22,775 課 当性 A 70,612 6,612 課 当性 A	二次評価 本の	

事務事業の 概要

手段 (事業内容)

基本事業 コード 6 次羽曳野市総合 施策目標 施策 施策の方向	合基本	421-06		基本事業の 概要								
施策目標施策	合基本	x計画				的	数奈太	受ける機会のは	生去应	n z		
施策					(どうした	:いのか)	3X F1 2	、文门の版芸のよ) 7 ~ E	1,00		
			子ども・若者を育むまち			指	票名		単位	H28.4時点	29年度	32年度
施策の方向		学校教育				,111	ж ц		+14	現状値 (総計)	実績	目標(総計)
MODELS TO 1 3	1	「生きる力」を育	が教育の推進	総合基本計画								
++ -2 (11 =		(1)羽曳野の資	&源を活かしたまちづくり	目標指標						İ		
まちづくりの 単略	0	(2)だれもが安	心・安全に暮らせるまちづくり									
半 人叩音	0	(3)人口減少下	の活力と成長に向けたまちづくり									
事務事	事業名	就学	援助等事務事業			事務事業	コード	421-06·	-01	7		
総計に基づ 事業の進捗も		(29年度)	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(義務的なもの)担	当 H29	学校教育課	H30	学校教育課
,	対象(那曳! abe·何を) 者	野市が設置する小中学校に在学	する児童・生徒	をもつ保護	29年度事務	事業評価	(28年度実施事	(業) 4	马 欽 針 田	— v ₇ ≘π	価対象事業

総合評価・ 今後の方向性

総事業費 (うち市負担額)

単位:千円

現状維持 各視点からの評価

93,820) (

28年度決算額 97,286

目的 経済的理由によって就学が困難となっている児童・生徒が、義務 (どうしたいのか) 教育を円滑に受けられるようにするため。

学用品費など必要な費用の一部を援助する。

Α

30年度 実施の 方向性

Α

実施

Α

29年度(当初)予算額 110,059

		<u> </u>				1	4.1	LA									
基	本事業名	教育体	制の充乳	Ę			×列 (誰を	Ͱ象 ・何を	<u>-</u>)	市立小口	中学校の教	マ職員					
ž	基本事業		421-07			基本事業の											
	コード					概要	目 (どうした	的 <u>-</u> いの	か)	指導力·	資質の向.	上を図る	0				
	欠羽曳野市総						,										
	策目標 策		未来に羽 学校教育		ども・若者を育むまち				指標	名		単		H28.4時点 状値(総計)		9年度 実績	32年度 目標(総計)
	策の方向				教育の推進	→ 総合基本計画							200	VIE (NOTI)		人相	口事 (中区日17
±	ちづくりの				を活かしたまちづくり	目標指標											
	略				安全に暮らせるまちづくり活力と成長に向けたまちづくり	_											
			(0) / (1)	1% J T 07	石力と成及に同けたようラマケ			1						 1			
	事務	事業名	i	教職員	开修事務事業			事	務事業=	1ード	421-	07-01					
	総計に基事業の進捗		(29年度	Α	順調である	継続・ 新規	継続		定・自治	治事務(化	壬意のもの)	担当	H29	学校教育	課	нзо 学	校教育課
	事来70年70	1	#太。(何太)	学校職	8	初乃九	ļ			*****	(28年度実	佐車業)	早级	红 田		二次評価	+ 各 車 类
1		利豚(面	#E-142					Z94	- 文学 77	未計画	(20年及天	心 争未 /	政心		当性	有効性	効率性
	事務事業の	(どうしか	目的たいのか)	学校職	員の資質を向上させることによ [≜] 校にする。	り、子ども・地域	にとってよ			評価· 方向性	現状維	持各被	点から	Ø 0 0 0 (III	A	A	A
	概要	(2)0/		200.7	-IXIC 9 0 o			∤ ⊦		業費	20年	度決算額	Ā	29年度(当社			
			F段 (大容)	大学の	先生をはじめ、その道の専門の まる	の先生方を招へし	いして研修			未复 負担額)	20-4	3,75	9	29年及(当1	4,131	実施の	
		().0		2.人心:	7 %					単位:千F	ሻ (3,75	9)	(4,131) <mark>方向性</mark>	ŧ .
	事務	医 事業名		数音指述	並支門品享業			事		1—F	421-	-07-02]			
		る事業名			事専門員事業	継続・			務事業=	<u></u>		07-02					
	事務 総計に基 事業の進捗	づく	(29年度	教育指導 A	事中門員事業 順調である	継続・ 新規	継続	法	Ð.	<u></u>	421- i務的なもの)		H29	学校教育	課	H30 学	校教育課
	総計に基	づく 状況	(29年度	A		新規	継続	法自	定 自治	治事務(義		担当		1 124 224 131	課	H30 学 二次評価:	124 224 1 2 1814
2	総計に基事業の進捗	づく :状況 対象(計	(29年度 単を・何を)	A 羽曳野i	■ である 市立小・中学校の教員(新任者	新規 対員・講師)	111111	法自	定 自治 官事務事	治事務(義	(28年度実	担当施事業)	最終	結果	課		124 224 1 2 1814
2	総計に基	づく 状況 対象(計	(29年度 推を・何を) 目的	A 羽曳野i 教職員(順調である	新規 対員・講師) 導力を向上させる	111111	法自	定 自治 自治 後合	治事務(義	(28年度実	担当	最終	結果 妥		二次評価	対象事業
2	総計に基事業の進捗	づく *状況 対象(語 (どうし)	(29年度 推を・何を) 目的 たいのか)	A 羽曳野i 教職員(り、子ど	市立小・中学校の教員(新任教の日々の授業の質を高め、指 も・地域にとってよりよい学校	新規 対員・講師) 導力を向上させ・ にする。	ることによ	法自	定・ 自治 ・度事務事 総合の 今後の	治事務(義 業評価 評価・ 方向性 業費	(28年度実現状維	担当 施事業) 持 各被 医决算器	最終見点から	結果 妥	当性 人 切)予算額	二次評価:	対象事業 効率性 A
2	総計に基事業の進捗	づく 状況 対象(語 (どうし)	(29年度 推を・何を) 目的	A 羽曳野i 教職員(り、子ど 教育指	順調である 市立小・中学校の教員(新任者 の日々の授業の質を高め、指	新規 対員・講師) 導力を向上させに にする。 壬者研修における	ることによる研究授業	法自	定・ 自治 度事務事 総合 今後の	治事務(義 業評価 評価・ 方向性 業費	務的なもの) (28年度実 現状維 28年	担当 施事業) 持	最終見点から	お果のの評価	当性 A	二次評価。 有効性	対象事業 効率性 A 実施
2	総計に基事業の進捗	づく 状況 対象(語 (どうし)	(29年度 誰を・何を) 目的 たいのか)	A 羽曳野i 教職員(り、子ど 教育指	市立小・中学校の教員(新任教の日々の授業の質を高め、指 も、地域にとってよりよい学校 学専門員を配置し、法定の初付	新規 対員・講師) 導力を向上させに にする。 壬者研修における	ることによる研究授業	法自	定・ 自治 ・度事務事 総合の 今後の	治事務(義 業評価 評価・ 方向性 業費 負担額)	務的なもの) (28年度実 現状維 28年	担当 施事業) 持 各被 5,98	最終見点から	お果のの評価	当性 人 切) 予算和 6,127	二次評価: 有効性 A 30年度実施の	対象事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 状況 対象(語 (どうし)	(29年度 誰を・何を) 目的 たいのか) 手段 養内容)	A 羽曳野 教職員(り、子ど 教育指にかかっ	市立小・中学校の教員(新任教の日々の授業の質を高め、指 も、地域にとってよりよい学校 学専門員を配置し、法定の初付	新規 対員・講師) 導力を向上させに にする。 壬者研修における	ることによる研究授業	29年	定・ 自治 ・度事務事 総合の 今後の	治事務(義 業評価 評価・ 方向性 業費 負担額) 単位:千F	務的なもの) (28年度実 現状維 28年	担当 施事業) 持 各被 5,98	最終見点から	お果のの評価	当性 人 切) 予算和 6,127	二次評価: 有効性 A 30年度実施の	対象事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 大沢 対象(計 (どうし) (事事	(29年度 誰を・何を) 目的 たいのか) 手段 養内容)	A 羽曳野 教職員(り、子ど 教育指にかかっ	市立小・中学校の教員(新任教の日々の授業の質を高め、指 ・も・地域にとってよりよい学校 導専門員を配置し、法定の初 る指導等の指導助言を補助的	新規 対員・講師) 導力を向上させ・ にする。 壬者研修におけ・ に実施するもの	ることによる研究授業	29年	定・自主に度事務事業ニーの方が表事業ニーの方が表現を表現しています。	大事務(義 業評価・ 計事務(表 業計画・ 計算を表 単位: 干F	務的なもの) (28年度実 現状維 28年	担当 施事業) 持 各部 5,98 5,90	最終 現点から 5 0)	お果のの評価	当性 人 切)予算和 6,127 6,127	二次評価: 有効性 A	対象事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 状況 対象(計 (どうし) (事業	(29年度 (29年度 目的 たいのか) F段 (29年度	A 羽曳野で教職員の 教育活動	市立小・中学校の教員(新任者の日々の授業の質を高め、指でも・地域にとってよりよい学校 導専門員を配置し、法定の初る指導等の指導助言を補助的 動研究等推進事業 環題である	新規 対員・講師) 導力を向上させ・ にする。 王者研修におけ・ に実施するもの 継続・ 新規	ることによる研究授業。		定・ 自治 度事務事 総合の 総市 (うち市 第 事業 二 自治)	治事務(義 業評価・ 戸方向性 業費 負担額) 単位:干F	務的なもの) (28年度実 現状維 28年 (421- 壬意のもの)	担当 施事業)	最終 見点から 5 0)	結果 妥の評価 タンマン ターマン ターマン ターマン ターマン ターマン ターマン ターマン	当性 人 切)予算和 6,127 6,127	二次評価 有効性 A 30年度 実施の 方向性	対象事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 状況 対象(計 (どうし) (事業	(29年度 重を・何を) 目的 たいのか) F段 美内容)	へ 羽曳野の 教職員の 教育指記 を 教育活動	市立小・中学校の教員(新任教の日々の授業の質を高め、指も・地域にとってよりよい学校 導専門員を配置し、法定の初る指導等の指導助言を補助的 助研究等推進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	新規 対員・講師) 導力を向上させ・ にする。 王者研修におけ・ に実施するもの 継続・ 新規 職員	ることによる研究授業。		定・ 自治 度事務事 総合の 総市 (うち市 第 事業 二 自治)	治事務(義 業評価・ 戸方向性 業費 負担額) 単位:干F	務的なもの) (28年度実 現状維 28年 (421-	担当 施事業)	最終 見点から 5 0)	結果 妥の評価 / () () () () () () () () () (当性 A 切)予算 6,127 6,127	二次評価。 有効性 A 30年度 実施の)) 方向性	対象事業 効率性 A 実施 と複数育課
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が 対象(語 (どうし) (事業 対象(語	(20年度 誰を・何を) 目的 にいのか) 手段 集内容) (20年度 誰を・何を)	A 羽曳野i 教り、教育活動 A 羽曳野i 小・中学	市立小・中学校の教員(新任者の日々の授業の質を高め、指でも・地域にとってよりよい学校 導専門員を配置し、法定の初る指導等の指導助言を補助的 動研究等推進事業 環題である	新規 対員・講師) 導力を向上させ・ にする。 壬者研修におけい に実施するもの 機様・ 新規 職員 数科・領域の研 を対して、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ることによる研究授業。		定・ 自治 度事務事 総合の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	治事務(義 業評価・ 戸方向性 業費 負担額) 単位:干F 治事務(作 業評価・	務的なもの) (28年度実 現状維 28年 (421- 壬意のもの)	担当 施事業) 持 各初 5,90 07-03 担当 施事業)	最終 現点から (55) (0) 最終	結果 妥の評価 タンジャ タンジャ を マンジャ を マンジャ を マンジャ を マンジャ を マンジャ を マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ	当性 A 切) 予算8 6,127 6,127	二次評価 有効性 A 30年度 完施向性)) 一次評価 有効性	対象事業
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 総計に基 事業の進捗	が 対象(語 (どうし) (事業 対象(語	(29年度 推を・何を) 目的 たいのか) F段 集内容) (29年度	A 羽曳野i 教り、教育活動 A 羽曳野i 小・中学	市立小・中学校の教員(新任者の日々の授業の質を高め、指さ・地域にとってよりよい学校 導専門員を配置し、法定の初行る指導等の指導助言を補助的	新規 対員・講師) 導力を向上させ・ にする。 壬者研修におけい に実施するもの 機様・ 新規 職員 数科・領域の研 を対して、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ることによる研究授業。		定・ 自)を を を を を を を を を を を を を を	治事務(義 業評価・ 評価・ (責担額) 単位:干F 治事務(代 業評価・ (計業)	(28年度実 現状維 28年 1 28年 1 28年 1 (28年 28年 3 (28年 6 28年 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	担当 施事業) 持 各部 5,98 5,90 07-03 担当 格事業)	最終 最終 最終	結果 29年度(当4 (学校教育) 結果 の評価	当性 A 50)予算和 6,127 6,127	 二次評価 有効性 A 30年度 方向自 二次評価 有効性 A 	対象事業 効率性 A 実施 校教育課 対象事業 効率性 A
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 総計に基 事業の進捗	対象(語 「どうし」 「事業 本業名 が状況 対象(語 「とうし」 「事業 対象(語 「とうし」	(20年度 誰を・何を) 目的 にいのか) 手段 集内容) (20年度 誰を・何を)	A 羽 教り、教に 教育が育者 A 男 中研 A 男 中研 校	市立小・中学校の教員(新任者の日々の授業の質を高め、指さ・地域にとってよりよい学校 導専門員を配置し、法定の初行る指導等の指導助言を補助的	新規 対員・講師) 導力を向上させ・ にする。 壬者研修におけっ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ることによる研究授業。 継続 ・ 継続 ・ 対策に活か ・ 支援する。		度・ 自治 度 事 務 会 の 総 事 市 : 自治 度 事 総 後 の 事 市 : 自治 度 事 総 後 像 事 市 : 自治 度 事 の 会 率 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	治事務(義 業評価・ 戸方向性 業費 負担額) 単位:干F 治事務(作 業評価・	(28年度実 現状維 28年 1 28年 1 28年 1 (28年 28年 3 (28年 6 28年 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	担当 施事業) 持 各初 5,90 07-03 担当 施事業)	最終 最終 最終	結果 妥の評価 タンジャ タンジャ を マンジャ を マンジャ を マンジャ を マンジャ を マンジャ を マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ マンジャ	当性 A 50)予算和 6,127 6,127	二次評価第一次評価第一次評価第一次評価第一人	対象事業 効率性 A 実施 対象事業 効率性 A

基	本事業名	教育環境の	· 実						(対象 誰を・何	(を)	学校施訂	n Z						
į	基本事業 コード	422-	01					基本事業の 概要		目的		安全·安	心な学校生	活に必要	な設備王	豊境の確	保と改善	善を図る。	
第6	次羽曳野市総	合基本計画							٤)	うしたい	のか)	2 - 2			COUNTRA	A-20-0	- Pre-sx	ncn v.	
	策目標 5策	4 未来1 2 学校3		子ども・	若者を育む	むまち					指标	票名		単位	H28. 現状値	4時点 (総計)		年度 尾績	32年度 目標(総計)
旅	策の方向				境づくりの かしたまち			総合基本計画 目標指標	1										
	ちづくりの は略	O (2) t:	れもが安	心・安全	に暮らせ	るまちづく		口1示1日1示											
		O (3) A	口減少下	の活力	と成長に「	句けたまち	ちづくり								<u> </u>				
		事業名	学校	施設管理	里事務事業	*					事務事業	コード	422-0	1-01					
	総計に基準事業の進捗		度) A	順	調である			継続・ 新規	継糸	ŧ	法定· 自治	治事務(義	務的なもの)	担当 H29	教	育総務詞	课	H30 教	育総務課
1		対象(誰を・何	を) 児童	、生徒、	. 教職員	および地	域住民			29	年度事務	事業評価	28年度実施	事業)	最終結果			二次評価対	
	事務事業の	目的 (どうしたいの	市立	小中学	校施設の)使用に	ついて安全	全な教育環境	を提供す	5.		ì評価・ D方向性	改善して継	続 各視点	からの評	·=	当性 人	有効性 B	効率性 A
	概要	手段	①#	埶费筀	の支払い). ②施彭	8の不良個	固所を修繕す	5. ③各科	iil公		事業費		決算額	29:	年度(当初	刃)予算額	30年度	
		(事業内容						美者へ委託す			(つち巾	5負担額) 単位:千円		177,663 177,663) (37,904 37,904	実施の 方向性	
	事務	事業名	学校	施設改作	多事業						事務事業	コード	422-0	1-02					
	総計に基づ事業の進捗		度) 🛕	順	調である			継続・ 新規	継糸	ŧ	法定· 自治	自治事務(日	E意のもの)	担当 H29	教	育総務詞	課	H30 教	育総務課
2		対象(誰を・何	を) 児童	、生徒、	. 教職員都	および地	域住民			29	年度事務	事業評価	〔28年度実施	事業)	最終結果			二次評価対	対象事業
	事務事業の	目的 (どうしたいの	、 市立	小中学	校施設の)使用に	ついて安全	全な教育環境	を提供す	5.		↑評価・ D方向性	現状維持	各視点	いらの評	·	当性 A	有効性 Λ	効率性
	概要			+\#\ *	理桩士相	1#+7+	사I-로파	前のな学校施	n n. → °=n.	# 0		事業費	28年月	決算額	29:	年度(当社	-	A 30年度	A
		手段 (事業内容		ひ叙月 工事を		1共9句/3	こめりに計世	的な子校池	文及 ひ設	用り	(うちす	負担額)		11,771		1	16,482	実施σ	
			4/12	エチと	11.7°							単位:千円	(11,771) (1	16,482) 方向性	
	事務	事業名			対震化事	Ŗ.					事務事業		422-0) (1	16,482) <mark>方向性</mark>	
	事務 総計に基 事業の進捗	づく (20)	非構造	造部材置		*		継続新規	継網	_	·+ ·	コード		1-03) (育総務調	<i>,</i>		育総務課
•	総計に基準事業の進捗	づく (20)	非構造	造部材置	耐震化事態		域住民		継糸	ŧ	法定・自治	コード 目治事務(義	422-0	1-03 担当 H28			<i>,</i>		育総務課
3	総計に基事業の進捗	づく *状況 対象(誰を・何 目的	非構 (2)	造部材 順 、生徒、 災害時	計震化事 関 <mark>である</mark> 教職員は	および地児童、教	職員の安	新規・		29	法定·自治 年度事務事	コード 月治事務(義 事業評価・	422-0 務的なもの) (28年度実施	1-03 担当 H28	最終結果	育総務記	課当性	H30	育総務課 * 効率性
3	総計に基準事業の進捗	が 状況 (29: 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの	非構 (を) 児童 地震(域)	造部材配 、生徒、 災害時避	対震化事等 関である 教職員は における 難場所と	および地 児童、教 :しての安	職員の安 全性を担	新規 全を確保する 保する。	らとともに	也 29	法定 自治 年度事務 年度事務 総合 今後の	コード ヨ治事務(義 事業評価・ アン方向性	422-0 務的なもの) (28年度実施 拡充・重点	1-03 担当 H28 事業) 1	最終結果	育総務語	課 当性 A	#30	育総務課 対象事業 * 効率性 A
3	総計に基事業の進捗	づく *状況 対象(誰を・何 目的	非構 A 単	造部材配 、	対震化事類である。 教職員は おけると 難場の吊り 場額線等	および地 児童、教 しての安 天井村の落下阪	収職員の安全性を担め で発生を担め で対象表工事 ではなった。	新規 全を確保する 保する。 事②バスケッ	るとともに、ゴール、	地 照	法定·自治 年度事務 総合 今後 6	コード 月治事務(義 事業評価・	422-0 務的なもの) (28年度実施 拡充・重点	1-03 担当 H28	最終結果	育総務記 妥 年度(当本 11	課 当性 A	#30	育総務課 対象事業 * 効率性 A
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が 状況 (29: 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 手段 (事業内容	非機 A 童 震住 屋器散 明飛散	造部材 、生 害の 運 校と に 時避 動 疑と	財展化事事 動である 教職員は おおけると に難場の形り 場額縁縁 場額縁表して 表記の 表記の 表記の 表記の もの の の の の の の の の の の の の の	および地児童、教としての安にの落下での落下で	収職員の安 全性を担 の撤去工事	新規 全を確保する 保する。 事②バスケッ	るとともに、ゴール、	た 29 地 照 スの	法定・ 自治 年度事務・ 総合 今後の (うちず	コード ヨ治事務(義 事業評価 評価・ アンテート アンテー	422-0 務的なもの) (28年度実施 拡充・重点 28年度	1-03 担当 H26 事業) 1 各視点 (比 各視点 (正決算額 216,026 194,403	最終結果	育総務記 妥 年度(当本 11	課 当性 人 切)予算を 13,530	二次評価分 有効性 B 30年度 実施の	育総務課 対象事業 * 効率性 A
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	非構	造部材制 集 生 害の 運 校と	対震化事場である 教職員は に難場のると 場類線 場類線 場類 の で 数 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	および地児童、教としての安にの落下での落下で	収職員の安全性を担め で発生を担め で対象表工事 ではなった。	新規 「全を確保する。 保する。 事②バスケックの補強工事	らとともに、 ・ゴール、 ③窓ガラ	記 29 地 照 スの	法自治 年度事務事業 ・ 大きない。 ・ たるない。 ・ 大きない。 ・ たるない。	コード 国治事務(義事業評価・) 方向性 事業費 行負担額) 単位:千円	422-0 務的なもの) (28年度実施 拡充・重点 28年月 (422-0	1-03 担当 H25 事業) i 各視点 決算額 216,026 194,403	最終結果 (なからの評 (29: () (育総務語 要 年度(当格 11	当性 (A) 予算者 (3,530 (3,530	本 - 次評価が 有効性 B 30年度 実施の 方向性	育総務課 対象事業 * 効率性 A
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	状況 (29s 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 手段 (事業内容 事業名	非構 ・	造部材制 、生 まの 運校と ・	対震化事類である。 教職員は におけると に難場の移動で表数に である。 である。 を対してある。 である。	および地 児童、教 にしての安 天井林の 天井本の 大の落下『 大の防止フィ	取職員の安全性を担め の撤去工事 が止のため ルムの貼り	新規 学全を確保する。 保する。 事②バスケッ りの補強工事 寸	るとともに、ゴール、	を 地 照 て の	法自治 年度事務 会会後 のうちず 事務 また 治	コード 開治事務(義 事業評価・ アン方向性 事業費 担額の 単位: 干P	422-0 務的なもの) (28年度実施 拡充・重点 28年月 3 (422-0	1-03 担当 H25 事業)	最終結果 (in) らの評 (29) () (育総務記 妥 年度(当本 11	当性 (A) 予算者 (3,530 (3,530	大	育総務課 対象事業 * 効率性 A 実施
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が 対象(誰を・何 (どうしたいの (事業内容 事業名 対象(誰を・何	非構造 (本) 児 電震住 屋器散 (本) 児 電震 (本) 児 電震 (本) 児 電震 (本) 児 電震 (本) 児 電影 (本) 別 (本)	造部材 が 集	対震化事系 教職員は 教職員は 大部場のの縁動に アコン設置 のなる 教職員は 教職員は 大部間である。 教職員は	および地児童、教会にしての安下での落下でいる。	職員の安全性を担の撤去工事 防止のため かいムの貼り 域住民	新規 学全を確保する。 事②パスケックの補強工事 対	からとともに 一	き 地 照 えの き き	法自年度事務等 総後の (うちずず ・ 本語 ・ 本語	コード 自治事務(義 事業評価・)方向性 事業費 有負担額) 単位:干P	422-0 務的なもの) (28年度実施 拡充・重点 28年月 (422-0	1-03 担当 H25 事業)	最終結果 (in) らの評 (29) () (育総務語 安 年度(当者 11	当性 (A) 予算者 (3,530 (3,530	本 - 次評価が 有効性 B 30年度 実施の 方向性	育総務課 対象事業 * 効率性 A 実施
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	状況 (29s 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 手段 (事業内容 事業名	非機 を 別 児 地域 ①明飛 普通を 別 児 近 重 震住 屋器散	を	対震化事多 関である 教職員は は場所に 場の縁表 関である 教職員は 教職員を 教職員を 教職員を	および地児童、教会にしての安下での落下でいる。	職員の安全性を担の撤去工事 防止のため かいムの貼り 域住民	新規 「全を確保する。 保する。 事②バスケックの補強工事	かさい はい	き 地 照 えの き き	法自年度事務。 総後6 総後6 総方市事務。 (うち市事業) 総合6 総後6 総本市事務。 総合6 総後6 総本市事務。 総合6 総合6 総合7 総合6 総合7 総合6 総合7 総合6 総合7 総合7 総合6 総合7 総合7 総合7 総合7 総合7 総合7 総合7 総合7	コード 自治事務(義 事業評価・)方角性 事業費 有負担額) 単位:干P コード 自治事務(由・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	422-0	1-03 担当 H25 中業) j (上 各視点	最終結果 29: 分 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	育総務語 妥	選 当性 A (3,530 (3,530) (3,530) (4		育総務課 対象事業 * 対象事業 * 対象事業 * 対象事業 * 対象事業 *
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進捗	が 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 事業名 (と3) (と4) (と4) (と5	#構	歯部 対す 順 徒 時避 動校と 1 に向 野 生 に向 野 住 時避 動校と 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	財農化事多数 教職員 おるという おりません おりません おりません おりません おりまた おりまた おりまた 教 夏季の ある る の ある る の あん かん	および地 児童、教会にしての安 天の落下派 天の落下派 大事業	職員の安保 所被去工 が放去工 がよのたと がしムの貼付 域住民	新規 学全を確保する。 事②パスケックの補強工事 対	らとともに、ゴール、3窓ガラ. 継絡	地 照(への)	法自年度事務等 会会 (うちず 事 法自 年 年 第 会会 (うちず 事 ま 法自 年 年 条 会会 (の	コード 自治事務(義 事業評価・ シカチ費担額) 単位は子平 自治事務(任 事業評価・性 事業担額)	422-0	1-03 担当	最終結果 (からの評) (数 (数 (数 (数 (数 () 数 (29:	育総務語 要 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	学 (本)		育総務課 * 効率性 A 実施 対象事業 * 効率性 A 実施 対象事業 * 効率性 A 実施
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象 (誰を・何 (どうしたいの 事業名 (どうした) (事業名 (どうした) (事業の 対象 (誰を・何 (どうした) (29: 対象 (誰を・何 (どうした) (29: 対象 (誰を・何 (どうした)	# 株 か 単 作 が 別 重 に 原 を か り 羽 置 を か り 羽 置 を か り 羽 置 を か り 羽 置 か り 羽 置 か り 羽 置 か り 羽 置 か り り か り 羽 置 か り り か り カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	造部材材 順	財震化率導 関である 教職員よるとり 大は場所の解釈 大は場所の解釈 教験しても 教験しても 教験しても 教験しても 教験しても 教験しても 教験しても 教験しても 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教験しまする。 教養、 教養、 教養、 教養、 教養、 教養、 教養、 教養、 教養、 教養、	および地児童、教安にしての落下でいる。	職員の安保 所被去工 が放去工 がよのたと がしムの貼付 域住民	新規 全全を確保する。 事②バスケックの補強工事 対 維続 新規	らとともに、ゴール、3窓ガラ. 継絡	き 29 地 照 (の)	法定治 年度事務 2 6 6 後 8 5 市 事 法自 年 年 8 6 6 6 6 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	コード 油治事務(義 事業評価・ かう力費担額) 単位:千戸 自治事務(石 事業 価 に を評価・ 性 を計算の 単位:千戸	# 422-0	1-03 1-03 1-03 1-03 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-05	最終結果 (からの評) (数 (数 (数 (数 (数 () 数 (29:	育総務語 要 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	当性 A A 3.3.530 (3.530) (3.530) (4.530) (4.530) (5.530) (6.530) (6.530) (7.530) (- 次評価が 有効性 B 30年度) 次部価が 方向性 B 30年度 日本の 1 次評価が 有効性 B 30年度	育総務課 * 効率性 A 実施 対象事業 * 効率性 A 実施 対象事業 * 効率性 A 実施
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの (事業内容 事業名 (どうしたいの (事業内容 (どうしたいの 事業名	非機・	造部材材 順	財農化事多数 教職員 おるという おりません おりません おりません おりません おりまた おりまた おりまた 教 夏季の ある る の ある る の あん かん	および地児童、教安にしての落下でいる。	職員の安保 所被去工 が放去工 がよのたと がしムの貼付 域住民	新規 学会を確保する。 事②バスケックの補強工事 対 無続 を対策および を対策および を受学級教室に	が さい さい さい さい さい さい かい	世 地 地 に こ 29 世 で こ の こ の こ り り り り り り り り り り り り り り り	法自年度事務 会後 のます まま自年 の	コード 日本	### ### ### ### #####################	1-03 1-03 1-03 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-05	最終結果 29:)) 数 数 数 数 数 数 3 1 29:)) (29:)) (29:)))) ())))))))))))))	育総務語 妥 / 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	課 当性 A (3,530 13,530 (3,530 (3,530 (4,53) (4,53) (4,53) (5,63) (6,763 (8,131)		育総務課 対象事業 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象 (誰を・何 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの 事業力 対象 (誰を・何 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの 事業 対象 (誰を・何 (どうしたいの 事業) (どうしたいの (よう) (よう) (よう) (も) (よう) (は) (も) (も) (も) (も) (も) (も) (も) (も) (も) (も	非構造 (本) 児 地域 (1)明飛 (主) 発 (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	造部材材 順 徒 時	財農化事事 関である 教職は対場の観光 は場場の額飛 教園のである。 教園のである。 教園のである。 教園のである。 教園のである。 教園のである。 教園のである。 本のである。 は、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	および地児童、教安にはての防止フィー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	職員の安保 所被去工 が放去工 がよのたと がしムの貼付 域住民	新規 全全を確保する。 事②バスケックの補強工事 対 維続 新規	らとともに、ゴール、3窓ガラ. 継絡	地 照(の) 29 29 29 29 29 29	法自年度事務会(の) (うちず ** (ま)	コード 神楽評価・ウンカ 神楽 神価・ 神楽 神徳・ 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽	# 422-0	1-03 1-03 1-03 1-03 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-05 1-05	最終結果	育総務語 要 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	課 当性 A (3,530 13,530 (3,530 (3,530 (4,53) (4,53) (4,53) (5,63) (6,763 (8,131)		育総務課 対象事業 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの (事業内容 事業名 (どうしたいの (事業内容 (どうしたいの (より) (よいの (事業内容 (どうしたいの (より) (よいの (より) (よいの (より) (よいの (より) (よいの (とうしたいの (より) (とうしたいの (と)したいの (と)しいの (と)しいの (と)しいの (と)しいの (と)しい (と)しい (と)しい (と)しい (と)しい (と)しい (と) (と) (と) (と) (と) (と) (と) (と) (と) (と)	# 株 か 単 で	造部材材 順 徒 時避 動校と エ 順 徒 けを 立 生 害の 運校と エ 順 徒 けを 立 生 生 造 か 生 生 た か と 生 きん か か と 生 きん か か と し か と と し か と と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と と か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と し か と と し か と し か と し か と し か と と し か と と し か と し か と し か と と し か と と し か と と と し か と と と し か と と	対震化率が である。 教職はよるとり等で、 教はお場所の観光を表する。 教育の観光を表する。 教育の観光を表する。 教育のので、 教育ので、 教育のので、 教育のので、 教育のので、 教育のので、 教育ので、 教育のので、 教育のので、 教育のので、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	および地児に天の林下に、大事業には、「は、「ない」を表して、「は、「ない」を表して、「は、「ない」を表して、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」をまして、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	w職員の安担 R全性を担い の放送工事が が放のため、 はは、 はは、 はは、 はは、 はないたが、 はは、 はないたが、 はないたが、 はないたが、 はないたが、 はないたが、 はないたが、 はないたが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがが、 はないがががががががががががががががががががががががががががががががががががが	新規 学全を確保する。 事②バスケックの補強工事 対 維続 新規 要学級教室に	るとともに ・ゴール、 3)窓ガラ 継絡 女育環境の エアコンさ	29 地 地原 (3 の) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	本法自年	コード 自治事務(義 事業評価・ カカサ を カカサ カカサ カカサ カカサ カカサ カカサ カカサ カカサ カカサ カカサ カカサ カカサ カリカ	### ### ### ### #####################	1-03 1-03 1-03 1-03 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-05 1-05	最終結果	育総務部 年度(当終務部 年度(当終務部 年度(当終務部 育総務部	課 当性 A (3,530 13,530 (3,530 (3,530 (4,53) (4,53) (4,53) (5,63) (6,763 (8,131)		育総務課 対象事業 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 概要 事務事業の 概要	が 対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの (ようしたいの 事業名 (どうしたいの 事業名 (どうしたいの (ようしたいの (ならいの (ならいの (ならいの (ならいの (ならいの (ならいの (ならいo (ならいの (ならいo (ならい (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a)	# 株 章 (造部 	対震化率。 教に難場かし 教は場場の額飛光を電力を職場ののでででいます。 教をは場ののででいます。 教をある。 教をある。 がいまする。 ないは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	および地、教女に大手への防止して、手楽をおると、「は、一人」を表して、「は、「は、「は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、「は、」は、は、は、は、	w職員の安担 R全性を工まり が放ったより が放ったより がは住民 は住民 な熱 室、支持 がからにして世 を発生を主まり を表する。 をまする。 を表する。 をまる。 を表する。 をまる。 を。 をまる。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を	新規 全全を確保する。 事(2)パスケッカの補強工事 対 無続 新規 要学級教室に	が は	25 地 地 で	大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	コード 神楽評価・ウンカ 神楽 神価・ 神楽 神徳・ 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽 神楽	# 422-0	1-03 1-03 1-03 1-03 1-03 1-04 1-04 1-04 1-04 1-04 1-05 1-05	最終結果	育総務部 要 111 111 育総務部 要 4 育総務部 要 4	当性 A M)		育総務課 対象事業 本 対象事業 本 対象事業 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

		<u></u>			7		_								
基	本事業名	学校給食の充	実			対 (誰を	象 •何₹	を)	児童及び)生徒					
	基本事業 コード 欠羽曳野市総	422-02 合基本計画			基本事業の 概要	目 (どうした	的 :い	ひか)	適切な第	栄養の摂取に。	よる心身	∤の発達、係	建康の保持均	曽進を図る。	
	策目標		コポナノス	ども・若者を育むまち								H28. 4₽	t to the same	9年度	32年度
	策	2 学校教育		C 0 412 F 0 & 5				指標	名		単位	現状値(約			32年及 目標(総計)
施	策の方向			育環境づくりの推進	総合基本計画										
	ちづくりの		_,,	を活かしたまちづくり ・安全に暮らせるまちづくり	目標指標										
戦	略	0 (=),(=)		活力と成長に向けたまちづくり											
	事務	8事業名	中学校征	給食提供事業			甲	事務事業□	ード	422-02-	-01				
	総計に基事業の進捗		Α	順調である	継続・ 新規	継続		ま定・ 自治	治事務(任	£意のもの) 担	当 H29	教育	総務課	H30 教育	育総務課
1		対象(誰を・何を)	市立中	学校生徒			29年	F度事務事	業評価	(28年度実施事	業)量	最終結果		二次評価対	象事業
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	当を持参	栄養の摂取による心身の発達、健 夢できない生徒に栄養バランスを₹ 正しい知識を習得させ、適切な判断	えた食事を提供				評価・ 方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当性	有効性	効率性 A
		手段(事業内容)	給食の	(生徒)がパソコン・携帯電話を 利用を希望する日を選んで申込 デリバリー方式・外部民間調理:	込みする「選択制	」の給食を		総事(うち市)	業費 負担額) 単位:千円		央算額 28,369 28,369	29年月	度(当初)予算 33,005 33,005	額30年度 実施の 方向性	実施
	事務	務事業名	小学校征	給食提供事業			哥	事務事業=	ード	422-02-	-02				
	総計に基事業の進捗		В	概ね順調である	継続・ 新規	継続		法定・ 自治	治事務(義	務的なもの) 担	当 1129	学校給:	食センター	H30 学校系	食センター
2		対象(誰を・何を)	市立小	, 学校児童		•	29 ±	丰度事務事	業評価	(28年度実施事	業)最	最終結果		二次評価対	象事業
2	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		心身の健全な発達と、食に関す 養成する。	ける正しい理解と	:適切な判		総合 今後の	評価・ 方向性	改善して継続	各視点	からの評価	妥当性	有効性 B	効率性 A
		手段 (事業内容)	アレルギー	学校給食の提供において、羽曳野市学校終 -対策に関する協議に基づき、安全で充実 数論を中心とした児童や保護者への食育指	した給食の実施を図る			総事(うち市)	業費 負担額) 単位:千円		· 算額 75,744 75,744) (度(当初)予算 272,766 272,766	30年度 実施の 方向性	実施
	事務	務事業名	給食セン	ンター等施設管理事務事業			PHI	事務事業□	ード	422-02-	-03			_	
	総計に基 事業の進捗			やや遅れている	継続・ 新規	継続		法定・ 自治	治事務(義	務的なもの) 担	当 H29	学校給:	食センター	H30 学校約	食センター
3		対象(誰を・何を)	第1学标 設置備	交給食センター、第2学校給食 品	センター、各小学	校給食室	29全	丰度事務事	業評価	(28年度実施事	業)量	最終結果		二次評価対	象事業
				小学校給食の提供を円滑に実	施するため 心	要とかる施		総合	亚価。			L C O SECT	妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		小学校結長の提供を円滑に美 調理設備を維持管理する。	//E 7 '0/207, 20'.	×C-5 0//E			方向性	改善して継続	各視点	からの評価	Α	В	В

	基本事業名	安全安心な学校	交環境の主	を備			対: (誰を・		児童及び	が生徒 しんしん					
	基本事業 コード 次羽曳野市総	422-03 合基本計画			基本事業 概要		目! どうした	的 いのか)	登下校时	寺及び校内での	り安全を	を確保する	•		
1	施策目標 施策 施策の方向	2 学校教育 2 安心して	学べる教	ども・若者を育むまち 育環境づくりの推進 を活かしたまちづくり	総合基本記目標指			į	指標名		単位	H28.45 現状値(約	き点 総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
	まちづくりの 戦略 			安全に暮らせるまちづくり 活力と成長に向けたまちづくり											
	3 - 3.	8事業名	学校安全	全対策事業				事務事	業コード	422-03-	-01				
	総計に基 事業の進払		Α	順調である	継続新		送続	法定・ 自治	自治事務(任	任意のもの) 担	当 H29	教育	総務課	нзо 教	育総務課
1		対象(誰を・何を)	児童					29年度事	務事業評価	(28年度実施事	業)量	最終結果		二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		校内の学生生活及び登下校時 保を図る。	における不	審者等から	らの		総合評価・ 後の方向性	現状維持	各視点	からの評価	<u>妥当性</u>	有効性	効率性 A
		手段(事業内容)	等発見	校正門付近に安全管理員を配 時の通報、来校者確認の受付: 全員に防犯ブザーを無償貸与	業務等を行				総事業費 ち市負担額) 単位:千P		失算額 4,079 4,079	29年月	隻(当初)予算 4,406 4,406	実施の	実施
	事利	務事業名	地域ぐる	みの学校安全体制整備推進事業	k			事務事	業コード	422-03-	-02				
	総計に基 事業の進払		В	概ね順調である	継続新		送続	法定・ 自治	自治事務(任	E意のもの) 担	当 H29	学校	教育課	H30 学	校教育課
2		対象(誰を・何を)	羽曳野河	市立小学校児童				29年度事	務事業評価	(28年度実施事	業)量	最終結果		二次評価対	
2	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	もの安全を	5が安全で安心して教育を受けられる 確保を図るため、学校、家庭及び地域 地域社会全体で子どもの安全を見守る	の関係機関・	団体が連携を			総合評価・ 後の方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当性 A	有効性	効率性 A
		手段(事業内容)	嘱し、各	DBや防犯の専門家等をスクー 学校を定期的に巡回し、警備 指導と評価や、スクールガード	のポイントや	改善すべ	き点		総事業費 ち市負担額) 単位:千円	28年度活	快算額 873 513) (隻(当初)予算 818 458	実施の	実施

							1		-	A									
-	基本	本事業名	教育:	ミュニティ	づくり				対(誰を	象 ·何	を)	地域住	民及び保護者						
		本事業コード		422-04				本事業の 概要	B	的		地域全	体で学校教育	を支援・	ナス				
第6	3 次	羽曳野市総	合基本	計画					(どうした	:LVC	ひか)	1041	かく子は我自	C X 18	7 00				
		美目標				子ども·若者を育むまち					指	標名		単位	H28.4B 現状値(約		29年度 実績		32年度 標 (総計)
	施領	を その方向		学校教育		数育環境づくりの推進	60. 4								現(水) (水)	SaT)	天积	н	信(RBaT)
1	心牙	RUJ [H]	Ó			図		基本計画 標指標											
		づくりの				wを占かしたよら <u>)</u> 、・安全に暮らせるまちづくり		1771177											
Ĭ	戦略	各	0			の活力と成長に向けたまちづくり													
			<u> </u>	(0)// [1% J \	が出分と成長に同りたようとくが				_				ı					
		事務	事業	ž	私たち	のまちの学校園育み事業				哥	務事業	業コード	422-04	- 01					
		総計に基 [*] 事業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続) <u>;</u>	法定・ 自治	自治事務(任意のもの) 打	旦当 H28	学校	教育課	H30	学校	教育課
			対象(誰を・何を)	羽曳里	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		•		294	F度事務	務事業評価	(28年度実施	事業) :	最終結果			評価対象	
				目的	抽域位	主民及び保護者が教育活動の振	胆をも	摇! 学	は関と地域		緃	合評価・				妥当性	有	効性	効率性
	4	事務事業の 概要				なび保護者が協働関係をもって国						の方向性	現状維持	各視点	からの評価	Α		Α	Α
				手段 業内容)		成の人材を生かした教育活動の3 フレットの作成、配布④地域清抗			会の開催			事業費 市負担額) 単位:千	28年度	決算額 2,998 2,998	29年)	度(当初)予算 2,999 2,999		30年度 実施の 方向性	実施

_						7											
ā	基本事業名	野外流	動機会の	D提供			対(誰を	象 ·何	\$)	青少年							
	基本事業		431-01			基本事業の											
	コード		401-01			概要	目 (どうした	的	n.4.)	体験活動	カの充実を図	₫る。					
第6	次羽曳野市総	合基本	計画				(270)	-0.0	(100)								
	拖策目標				ども・若者を育むまち				指標	名		単位	H28. 4		29年度		32年度
	も策 も策の方向		子ども・老健やかな			総合基本計画			,				現状値(総計)	実績	E	標(総計)
			(1)羽曳!	野の資源	 原を活かしたまちづくり	目標指標											
	まちづくりの 戦略				・安全に暮らせるまちづくり												
Щ		0	(3)人口	減少トの)活力と成長に向けたまちづくり			_									
	事務	事業名	3	ふれあし	い広場関連事務事業			導	務事業=	コード	431-0	1-01					
	総計に基事業の進捗	づく *状況	(29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続		定・自治	治事務(日	E意のもの)	担当 H29	社会	教育課	H30	社会	教育課
			推を・何を)	青少年			-1	29年	F度事務事	業評価 (28年度実施	事業) 最	最終結果		二次	マ評価対象	東事業
1			目的	駒ヶ公の	の豊かな自然を享受しながら、	野外活動を行え	ス提所を捍		松仝	評価・				妥当性	生 有	効性	効率性
	事務事業の 概要			供するこ	ことで青少年の体験活動の充実	実を図る。	L-O-MIN EIRE			方向性	現状維持	各視点	からの評価	Α		В	Α
			手段	グレース	プヒルスポーツ公園野外活動広	5場(ふれあいД	5場)の運営			業費 負担額)	28年月	度決算額 1.577	29年	度(当初)-		30年度 実施の	実施
		(事	業内容)	及び親	子ふれあいサマーイベントの開	催。			נוופל)	単位:千円	3 (1,577) (_{美胞の} 方向性	天旭
													_				
		8事業名	á	山添村里	野外活動施設事務事業			事	務事業コ	コード	431-0	1-02					
	総計に基事業の進捗		(29年度)	В	概ね順調である	継続・ 新規	継続		設定・ 自治	治事務(日	(意のもの)	担当 H29	社会	教育課	Н30	社会	教育課
		対象(記	誰を・何を)	青少年	団体及び青少年育成団体			29年	F度事務事	業評価 (28年度実施	事業) 最	曼終結果		二次	マ評価対象	象事業 *
2			目的	奈良県	山添村の豊かな自然を享受し	ながら、野外活	動を行える		総合	評価・	改善して継	6± 47 40 F	L CONTE	妥当性	_	効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうし	たいのか)	場所を持	提供することで青少年の体験活	5動の充実を図	る。		今後の	方向性	以苦しく終	物 合倪点	からの評価	Α		В	Α
			手段		山添村に所在する「山添村生派					業費 負担額)	28年月	度決算額	29年	度(当初)		30年度 実施の	実施
		(事:	業内容)		の6カ月間借り上げ、野外活動) 先利用できる。	他設として提供	。羽曳野巾		נוופל)	単位:千円	(1,375 1,375) (_{美胞の} 方向性	美 胞
													1				
	事務	務事業名	3	ふれあし	い広場大型遊具更新事業			事	務事業=	コード	431-0	1-03					
	総計に基 事業の進捗	づく 状況	(29年度)	Α	順調である	継続・ 新規	新規	法	定・ 自治	治事務(日	E意のもの)	担当 H29	社会	教育課	H30	社会	教育課
3		対象(推を・何を)	ふれあり	い広場を訪れる市民全般(特に	、幼児・児童)	-	29年	F度事務事	業評価(28年度実施	事業) 最	是終結果		二次	マ評価対象	東事業
ľ	事務事業の		目的		・豊かな自然を享受しながら、ふれあい より、キャンプ時や普段憩いを求める市					評価・			からの評価	妥当性	植有	効性	効率性
	サガラ 未の 概要	(どうし	たいのか)	置・充実を	を図っていく。その準備として、今年度	は現遊具の撤去を	実施する。			方向性							
			手段 業内容)	で、29年	した遊具は経年劣化により、安 ᆍ度において、撤去し更地とする 置を進める。					業費 負担額) 単位:千円		度決算額	29年	度(当初)		30年度 実施の 方向性	完了見込

基	本事業名	健やが	かな成長を	支える現	景境整備			対 (誰を	象 ·何	を)	児童·青	少年等						
	基本事業 コード 欠羽曳野市総	合基ス	431-02 は計画				k事業の 概要	目 (どうした	的 <u>-</u> い	ひか)	各施設に	こおいて、地	域の子	育て	•自主活動•優	建全育成	等に対する	る支援を図る。
施施	策目標 策	4	未来に羽子ども・若		ども・若者を育むまち 支援					指標	名		単位	立明	H28.4時点 !状値(総計))年度 実績	32年度 目標(総計)
施ま	策の方向 ちづくりの	1	健やかな(1)羽曳	成長支援 野の資源			基本計画 標指標											
戦	略	0)活力と成長に向けたまちづくり				_									
		事業:	各	青少年!	児童センター運営事務事業				Ľ	■務事業=	コード	431-0	2-01					
	総計に基事業の進捗		(29年度	Α	順調である		継続・ 新規	継続		t定・ 自治	治事務(信	任意のもの)	担当	129	青少年児童セ	ンター	H30 青少年	F児童センタ-
1		対象(誰を・何を)		ら成人の方まで幅広い年代				294	F度事務事	業評価	(28年度実施	事業)	最終			二次評価	
	事務事業の 概要		目的 たいのか)	心に各種類)放課後や土曜日、夏季休暇等の安心・ 教室を実施し様々な知識・技術等を習得 重動広場・教室等の施設を貸しだすこと!	引、体験し生活 はんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	厓学習への関	心を高める。・			評価・ 方向性	現状維持	各視	点から	らの評価	_{当性} B	有効性 A	効率性 A
			手段 業内容)	カー、おも	末・年始除く)の午前9時から午後9時3 しろ)・子育て支援(親子、小学生体操教 館内の教室、体育館、運動広場等の施	室)・夜の学	習会・夏休みる				業費 負担額) 単位:千P		E決算 額 22,61 22,25	5		切)予算者 23,389 23,042	30年月 実施の 方向性	実施
	事務	事業	名	青少年!	児童センター施設管理事務事績	Ŗ.			hille	■務事業 =	コード	431-0	2-02		1			
	総計に基 事業の進捗		(29年度	Α	順調である		継続・ 新規	継続		ま定・ 自治	治事務(년	任意のもの)	担当	129	事少年児童セ	ンター	H30 青少年	F児童センター
2		対象(誰を・何を)	青少年	児童センターを利用される市	内外のカ	ち々を対象	とする。	294	F度事務事	業評価	(28年度実施	事業)	最終	結果		二次評価	対象事業
2	事務事業の 概要		目的 たいのか)		施設・設備の維持管理により 一を利用できるようにする。	り、利用者	が安全で	安心して当			評価・ 方向性	現状維持	各視	点かi	- Λ 6π/π	当性 人	有効性 B	効率性 A
			手段 業内容)	点検、施設	バ青少年児童センターを安全で安心して 及の警備や清掃業務等を委託している。 り職員で行い、必要に応じて業者に発注	・施設や設備	備等の補修・修	や消防設備の ≸繕については			業費 負担額) 単位:千P		建決算額 21,41- 21,41-	4	_	切)予算客 21,878 21,878	30年月 実施 <i>0</i> 方向性	実施
	事務	事業	名	白鳥児	童館運営事務事業				luli	≨務事業 =	コード	431-0	2-03		1			
	総計に基 事業の進捗		(29年度	Α	順調である		継続・ 新規	継続		ま定・ 自治	治事務(년	任意のもの)	担当	129	白鳥児童郎	館	нзо É	鳥児童館
		対象(誰を・何を)	乳幼児	から小学校に在学する児童	、保護者			294	F度事務事	業評価	(28年度実施	事業)	最終	結果		二次評価	村象事業
3	事務事業の 概要		目的 たいのか)		こ健全な遊びを与えるととも1、子どもを心身ともに健やか!						評価・ 方向性	改善して継	続 各視	点から	この郵便	当性 人	有効性 B	効率性 A
			手段 業内容)	業。主に	現子の交流の場の提供、交流の促進 小学生を対象にした遊びの場の提 地域との連携・交流を深めるイベン	供、遊びの					業費 負担額) 単位:千P		表算额 7,80: 7,75	2	29年度(当社	切) 予算者 8,095 6,222	30年月 実施の 方向性	実施
	主発	事業	Ż	白島児1	童館施設管理事務事業				3	■務事業=		431-0		- /	1	-,	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	
	総計に基事業の進捗	づく	(29年度	В	概ね順調である		継続・ 新規	継続	7.7	£Φ.			担当	129	白鳥児童館	館	нзо É	鳥児童館
	デ末い進抄		誰を・何を)	白鳥児	<u></u> 童館		אכרונה		_		業評価	(28年度実施	事業)	最終	結果		二次評価	対象事業
4	事務事業の 概要		目的	利用者	が安全に、快適に施設を利用	用できる。					評価・ 方向性	現状維持	各視	点から	この郵価	当性 人	有効性	効率性 A
	14.5		手段 業内容)	施設及	び設備の保守・点検、及び滑	青掃、植 栽	浅等の環境	整備。			業費 負担額) 単位:千P		ま決算額 3,85- 3,80	4	29年度(当社	切)予算者 4,063 4.026	第 30年月 実施の 方向性	実施

					1	- 11	4							
基	本事業名	地域社会への特	多加促進				†象 •何を)	児童·青	f少年等					
į	基本事業 コード	431-03			基本事業の 概要	В	的							
第6	欠羽曳野市総	:合基本計画			1		こいのか)	地域に	おける交流の位	足進を区	る。			
施	策目標	4 未来に羽	ぱたく子	ども・若者を育むまち			指標	5 <i>D</i>		単位	H28.4時点		9年度	32年度
	策 策の方向	3 子ども・著 1 健やかな					1819	₹ 1 1		中位	現状値(総計	•)	実績	目標(総計)
==				_を 『を活かしたまちづくり	総合基本計画 目標指標									
	ちづくりの 略	(2)だれ	もが安心	・安全に暮らせるまちづくり										
		〇 (3)人口	減少下の	活力と成長に向けたまちづくり				_						
	事務	§事業名	夏休み	ラジオ体操事業			事務事業	コード	431-03	- 01				
	総計に基 事業の進捗		В	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(作	任意のもの) 打	旦当 H29	社会教	育課	H30 社	会教育課
		対象(誰を・何を)	子ども、	· 、地域	•	•	29年度事務事	事業評価	(28年度実施事	事業) 最	 終結果		二次評価	対象事業
1		目的		は不規則な生活になりがちなた			松本	·評価 ·		1		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)		を実施することで規則正しい生 ミュニティの活性化をめざす。	活の確立と、世	代間交流、		方向性	現状維持	各視点	からの評価	Α	Α	Α
		手段	地域(自	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	ードと参加賞(え	しんぴつ3		事業費 「負担額)	28年度	決算額 948	29年度(当初)予算 375	30年度 実施 <i>0</i>	
		(事業内容)	本)を配	己布することでラジオ体操の促進	₤をうながしてい	る。	() 3.1.	単位:千日	,	0.0	\ /	375) 方向性	
								単位:十1	1 (948) (3/3) <u>/</u> / PIT:	
									,		<u>/ (</u>	3/3) <u>77 (P) 13</u>	
		事業名	親子ふ	れ愛(ふろ愛)事業			事務事業		431-03			373) <u>万间1</u>	
	事務 総計に基 事業の進捗	づく	親子ふね	れ愛(ふろ愛)事業 概ね順調である	継続・ 新規	継続	注中.	コード	431-03		社会教		7	会教育課
0	総計に基	づく :状況 ^{(29年度}	В			継続	法定・自治	コード 目治事務(代	431-03	−02 担当 H29	,,		7	会教育課
2	総計に基事業の進捗	づく *状況 (29年度 対象(誰を・何を)	B 羽曳野 少子化	概ね順調である 市内の小学生以下の子ども 、核家族化が急速に進み、地域	新規 対社会とのつなが	バリが希薄	法定・自治 29年度事務事	コード 目治事務(代	431-03 任意のもの) 打 (28年度実施事	一 02 旦当 H29 事業) 最	投終結果	育課	二次評価沒有効性	会教育課 対象事業 効率性
2	総計に基	づく ・ 状況 (29年度 対象(誰を・何を)	羽曳野少子化となるな	概ね順調である 市内の小学生以下の子ども	新規 成社会とのつなが 子どもの入浴を	バリが希薄 通じたふれ	法定·自治 29年度事務事	コード 目治事務(付事業評価	431-03 狂意のもの) 打	一 02 旦当 H29 事業) 最	投終結果	育課	上次評価が	会教育課
2	総計に基事業の進捗	状況 (29年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	B 羽曳野 少子なるた あいを 実施日	概ね環間である 市内の小学生以下の子ども、、核家族化が急速に進み、地域なか、保護者や地域の人たちとの以り、青少年の健全育成と健康(1月と8月を除く月の全土曜日	新規	バリが希薄 通じたふれ ・。 の児童・幼	法定· 自治 29年度事務事 総合の 令後の	コード 自治事務(イ 事業評価・ 評価・)方向性 事業費	431-03 任意のもの) 打 (28年度実施事	一02 旦当 H29 事業) 最 各視点 決算額	と終結果 からの評価	育課 妥当性 B 当初)予算	H30 名 二次評価 有効性 B	会教育課 対象事業 効率性 A
2	総計に基事業の進捗	(29年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	B 羽曳野 少なるた あいを 関施所保	概ね環間である 市内の小学生以下の子ども、 、核家族化が急速に進み、地域 なか、保護者や地域の人たちど 図り、青少年の健全育成と健康	新規	バリが希薄 通じたふれ ・。 の児童・幼	法定· 自治 29年度事務事 総合の 令後の	コード 自治事務(イ 事業評価 評価・)方向性	431-03 注意のもの) 計 (28年度実施書 現状維持 28年度	-02 担当 H29 事業) 最 各視点	と終結果 からの評価	育課 妥当性	+330	会教育課 対象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 秋況 (28年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	B 羽曳野 少ないた 実にがい 実にがり は幼児	本本順間である 市内の小学生以下の子ども、核家族化が急速に進み、地域なか、保護者や地域の人たちと図り、青少年の健全育成と健康(1月と8月を除く月の全土曜日譲者等と同伴で入浴すれば保)が一人無料になる。	新規	バリが希薄 通じたふれ ・。 の児童・幼	法定・ 自治 29年度事務事 総合の 今後の 続うち市	コード 自治事務(作 事業評価・ 評価・ 対方向性 事業費額(単位:千)	431-03 注意のもの) ‡ (28年度実施車 現状維持 28年度	- 02 担当 H29 事業) 最 各視点 885 885	と終結果 からの評価	育課 妥当性 B 当初)予算: 910	H30 社 二次評価: 有効性 B 30年度 実施の	会教育課 対象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 状況 (28年度 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	B 羽曳野 少ないた 実にがい 実にがり は幼児	振ね順間である 市内の小学生以下の子ども、核家族化が急速に進み、地域なか、保護者や地域の人たちとなり、青少年の健全育成と健康(1月と8月を除く月の全土曜日護者等と同伴で入浴すれば保)	新規 就社会とのつなが 子どもの入浴を の増進をめざす りに小学生以下 護者一人に対し	バリが希薄 通じたふれ ・。 の児童・幼	法定: 自治 29年度事務事 総合 今後 の お で で うち市	コード 自治事務(作 事業評価・ 評価・ 対方向性 事業費額(単位:千)	431-03 注意のもの) 計 (28年度実施書 現状維持 28年度	- 02 担当 H29 事業) 最 各視点 885 885	と終結果 からの評価	育課 妥当性 B 当初)予算: 910	H30 社 二次評価: 有効性 B 30年度 実施の	会教育課 対象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく 状況 (28年度 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	B 羽曳野 少ないた 実にがい 実にがり は幼児	本本順間である 市内の小学生以下の子ども、核家族化が急速に進み、地域なか、保護者や地域の人たちと図り、青少年の健全育成と健康(1月と8月を除く月の全土曜日譲者等と同伴で入浴すれば保)が一人無料になる。	新規	バリが希薄 通じたふれ ・。 の児童・幼	法定: 自治 29年度事務事 総合 今後の 終事 (うち市	コード 自治事務(イ 自治事務(イ 事業評価・ 評価・ 評価・ 対力向性 事業費 (負担額) 単位:千日	431-03 注意のもの) ± (28年度実施書 現状維持 28年度	- 02 担当 H29 事業) 最 各視点 885 885	と終結果 からの評価	音課 妥当性 B 当初)予算 910 910	Txp評価が 有効性 B	会教育課 対象事業 効率性 A
	総計に基事業の進捗事務事業の概要	づく 状況 (28年度 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	B 羽曳野化とないをでいるのでは幼児は幼児	概ね順間である 市内の小学生以下の子ども、、核家族化が急速に進み、地場なか、保護者や地域の人たちと図り、青少年の健全育成と健康(1月と8月を除く月の全土曜日譲者等と同伴で入浴すれば保)が一人無料になる。	新規	がりが希薄 通じたふれ 。 の児童・幼 児童(また	法定・ 自自 を事務事 総合の 今後の 総等市 (うち市	コード 月治事務(イ 事業評価・ 評価・ 対力向性 事業費額の 単位・チョード 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・	431-03 注意のもの) ± (28年度実施書 現状維持 28年度	- 02 日当 H29 事業) 最	29年度(: 社会教)	音課 妥当性 B 当初)予算 910 910	Txp評価が 有効性 B	会教育課 対象事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 事務 事務 事務 事務	づく 状況 (28年度 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段 (事業内容) 事業名	B 羽曳野 化とない あ実にが幼 成人式!! 成人式!!	概ね順間である 市内の小学生以下の子ども、、核家族化が急速に進み、地場なか、保護者や地域の人たちと図り、青少年の健全育成と健康(1月と8月を除く月の全土曜日譲者等と同伴で入浴すれば保)が一人無料になる。	新規 成社会とのつなが 子どもの人浴を の増進をめざす。 に小学生以下 養者一人に対し 経続・ 新規	がりが希薄 値にたふれ つの児童・幼児童(また	法定・ E	コード 月治事務(イ 事業評価・ 評価・ 対力向性 事業費額の 単位・チョード 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・	431-03 注意のもの) 打 (28年度実施事 現状維持 28年度 (431-03 注意のもの) 打 (28年度実施事	-02 担当 H29 事業) 最 各視点 885 885 -03 担当 H29	総終結果 29年度(!) (社会教	音課 妥当性 B 当初)予算 910 910	Hab	会教育課 対象事業 効率性 A 実施
	総計に基事業の進捗事務事業の概要	が 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業内容) 事業名 づく 対象(誰を・何を)	B 羽曳野化ならを日東児が幼児成人式に B 新成人の	概ね順調である。 市内の小学生以下の子ども、、核家族化が急速に進み、地域なか、保護者や地域の人たちと。 辺り、青少年の健全育成と健康((1月と8月を除く月の全土曜日 護者等と同伴で入浴すれば保) が一人無料になる。 開催事業 概ね順調である	新規 就社会とのつなた 子どもの入浴を の増進をめざす にハ学生以下 護者一人に対し 継続・ 新規	がりが希薄 値にたふれ つの児童・幼児童(また	法定 E	コード	431-03 注意のもの) ま (28年度実施 現状維持 28年度 (431-03 注意のもの) ま	-02 担当 H29 事業) 最 各視点 885 885 -03 担当 H29	29年度(i) (社会教	育課 B 当初)予算 910 910	Table Tab	会教育課 対象事業 効率性 人 実施
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 事務事業の 事務事業の	が 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 事業内容) 事業名 づく 対象(誰を・何を)	B 羽虫 子ないああるを旧保児は 成人 J 成ともに	概ね順間である 市内の小学生以下の子ども 、核家族化が急速に進み、地域なか、保護者や地域の人たちと 図り、青少年の健全育成と健康 (1月と8月を除く月の全土曜日(1月大多月を大田曜日で入浴すれば保))が一人無料になる。 関催事業 概ね順間である	新規 成社会とのつなた 子どもの入浴を の増進をめざす の増進をめざす にハ学生以下 護者一人に対し 継続・ 新規 しての前途を祝。。。	がりが希薄 通じたふれ。 の児童・幼児童(また 継続	法定: E E	コード 自治事務(イ 事業評価・)	431-03 注意のもの) 打 (28年度実施事 現状維持 28年度 (431-03 注意のもの) 打 (28年度実施事	-02 担当 H29 事業) 番視点 885 885 -03 担当 H29 事業) 最	29年度(!) (社会教)	育課 B 当初)予算: 910 910	155 大 二次評価 有効性 B 30年度 実施の 方向性 1 1 1 1 1 1 1 1 1	会教育課 対象事業 効率性 人 会教育課 対象事業

基	本事業名	多様な学習・体験機会の提供						対 (誰を・											
	基本事業 コード 欠羽曳野市総	431-04 市総合基本計画								160					舌動の体験を通じて、健全な成長を図る。				
	策目標 策	4 未来に羽 3 子ども・i			ども・若者を育むまち 支援				指標名				単位				年度	32年度 目標(総計)	
施	策の方向) 方向 1 健やかな (1)羽曳		成長支援		総合基本 目標打													
	ちづくりの 略				・安全に暮らせるまちづくり)活力と成長に向けたまちづくり														
	事務	§事業名	i	はびきの	の中学生study-〇事業				事	務事業=	コード	431-0	04-01						
	総計に基 事業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定自		治事務(任	意のもの)	担当	129 特合	うプロジェクト	チーム	нзо 特命プロ	コジェクトチーム	
1		対象(計	きを・何を)	市内在	住または在学の中学生				29年月	度事務事	業評価 (28年度実施	拖事業)	最終網		当性	二次評価対		
	事務事業の 概要	(どうし	目的 といのか)	学力向	上とともに居場所づくりを図る	0					評価・ 方向性	現状維持	寺 各視	点から		В	В	効率性 B	
	194.35		手段 集内容)		の自学自習の場を提供し、市)サポートにより、自学自習する			ティアス			業費 負担額) 単位:千円		度決算額 4,009 2,69	5	29年度(当社	切)予算客 6,130 3,318	30年度 実施の 方向性	実施	
	事務	事業名		小・中学	生スポーツクラブ活動事業				事	%事業=	1—K	431-0	04-02						
	総計に基 事業の進捗	づく 状況	(29年度)	В	概ね順調である		継続・ 新規	継続	法定自		治事務(任	意のもの)	担当	129 特台	プロジェクト	チーム	H30 特命プロ	コジェクトチーム	
2		対象(計	誰を・何を)	市内在	住または在学の小学生および	が中学生			29年月	度事務事	業評価 (28年度実施	拖事業)	最終網			二次評価対		
-	事務事業の 概要		目的 たいのか)	児童・生徒の居場所づくり、健康づくりる		りを促進す	を促進する。		総合評価・ 今後の方向性 現状料		現状維持	持 各視点からの評価		10 ET /III	_{当性} B	有効性 B	効率性 B		
			=段 (内容)	市職員 れ指導	が指導員となり、女子サッカー する。	−と男女硬₃	式テニス	くをそれぞ			業費 負担額) 単位:千円		度決算額 2,482 2,482	2	29年度(当初	切)予算客 2,698 2,698	30年度 実施の 方向性	実施	
	事務	事業名		はびきの	の夏スタ!事業				事	条事業=	1—Ķ	431-0	04-03	1					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度			Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定		治事務(任	意のもの)	担当	129 特合	プロジェクト	チーム	H30 特命プロ	コジェクトチーム	
3	子来びたり		誰を・何を)	市立小	<u>↓</u> 学校4年生から6年生まで		4,717,50		29年月	要事務事	業評価 (28年度実施	拖事業)	最終網	吉果		二次評価対	* 象事業	
Ĭ	事務事業の 概要		目的 といのか)	学習習	慣の定着とともに夏休み中の	児童の居場	童の居場所づく				評価・ 方向性	現状維持	寺 各視	点から	1 , ⊕π /#	^{当性} B	有効性 B	効率性 A	
	似女		=段 ≰内容)	分からなし 習タイムと	S小学校2日間の日程で開催。児童が夏¢ いところや苦手部分について、市職員やサ -ゲームや工作等の児童全員で楽しめるレ を行うお楽しみタイムを実施する。	トポートスタッフ :	ポートスタッフが助言、指導を行う。学				業費 負担額) 単位:千円		度決算額 2,48 2,48	1	29年度(当社	列)予算客 2,623 2,221	30年度 実施の) 方向性	実施	
	事務事業名			各種教室等開催(青少年センター)事業				事務事業コード 431-04-					-04						
	総計に基 事業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定自		治事務(任	意のもの)	担当	129	社会教育	課	H30 社:	会教育課	
4		対象(計	誰を・何を)		- 育だけでは学ぶことが難しい(伝統文化と	5宝はた	.学7、休	29年月			28年度実施	8年度実施事業) 最終結果			当性	二次評価対象事業 性		
	事務事業の 概要		目的 たいのか)		る場を提供し、伝統文化や実法					今後の	評価・)方向性	現状維持		点から	の評価	A	В	A	
			=段 €内容)		室(児童画、将棋、書道、水彩 ・冬休み短期教室の開催。	画)、体験	教室(3	Е曲∼琴)、			業費 負担額) 単位:千円		隻決算額 3,494 3,279	4	29年度(当社	刃)予算者 3,709 3,465	30年度 実施の 方向性	実施	

ž	基本事業名	困難を有する子	とども・若者の)支援			象 •何を)	支援の必	要な子ども・	も・若者及び保護者等					
	基本事業コード	432-01			基本事業の 概要		目的 (どうしたいのか) 居場所づくりととも!			抱えてし	いる問題の克	を図る。			
	次羽曳野市約 布策目標		コギャノスジェ	・・若者を育むまち							1100 Ant	- I -	00左左	32年度	
	也来口标 在策		吉者育成支援					指標名		単位	現状値(総言	H28.4時点 29年度 状値(総計) 実績		32年度 目標(総計)	
方	拖策の方向		する子ども・ヌ		総合基本計画										
	まちづくりの 鉄略		曳野の資源を活かしたまちづくり れもが安心・安全に暮らせるまちづくり		目標指標										
7	-X.#G	〇 (3)人口	減少下の活力	カと成長に向けたまちづくり											
	事務	务事業名	発達に障害	のある児童の居場所づくり	事業		事務事	業コード	432-01-	-01					
	総計に基 事業の進払			な順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任	意のもの) 担	3当 H29	社会教	育課	H30 社:	会教育課	
1		対象(証を・何を) 職員			及びその保護者、羽曳野市留守家庭児童会				28年度実施事	事業) 最終結果			二次評価対象事業		
ľ	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	待につなが	な児童やその保護者が、悩 らないよう支援を行う。留守 関わり方を学ぶことができる	家庭児童会職員が、					各視点	からの評価	妥当性	有効性 B	効率性 A	
		手段 (事業内容)	り。留守家庭	開設。児童センター研徳田の 医児童会職員向けの研修会 グラム等の実践方法を学ぶ	の実施。保護者が「		総事業費 28年月 (うち市負担額) 単位:千円 (度決算額 29年度(主 5,222 222) ((当初)予算 5,222 222	額 30年度 実施の 方向性	実施	
	事務	务事業名	児童養護施	設退所児童進学応援奨学	金事務事業		事務事	事業コード	432-01-	-02					
	総計に基 事業の進捗		A	調である	継続・ 新規	新規	法定· 自治	自治事務(任	意のもの) 担	3当 H29	こども	5課	нзо	ども課	
2		対象(誰を・何を) 児童養護施設退所児童				29年度事	務事業評価 (28年度実施事	拖事業) 最終結果			二次評価対	象事業		
2	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)		色設退所児童の進学に係 欲の向上を図り、社会的		ることによ		総合評価・ 後の方向性			からの評価	妥当性	有効性	効率性	
		手段 (事業内容)		見童養護施設から各1名を こして返済義務のない奨学				総事業費 ち市負担額) 単位:千円	28年度2	英算額	29年度((当初)予算	額 実施の 方向性	実施	

基	本事業名	学校·家	庭・地垣	が連携	した育成支援			†象 ・何を)	子ども・ネ	若者及び保護	者					
	基本事業 コード 433-			433-01				的			8.4. ± 137. ± 7					
	欠羽曳野市総	合基本計	画				社会全体で健全な育成を支援する。									
-	策目標	4 未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち 3 子ども・若者育成支援							票名		単位 H28.4時点現状値(総計				32年度 目標(総計)	
	施策の方向 3		会全体	で支える	るための環境整備	総合基本計画	学校支援地域ス	本部事業に参加	しているボラン	ンティア数(延べ)	人	43,919		40,959	48,000	
	ちづくりの 略				原を活かしたまちづくり ・・安全に暮らせるまちづくり	目標指標 						,			,	
+3		0 (3	3)人口)	咸少下の	D活力と成長に向けたまちづくり			1				<u> </u>				
		務事業名		青少年	健全育成関連団体支援事業			事務事業	事務事業コード 433-01-							
	総計に基事業の進捗		(29年度)	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治事務(任意のもの)			<u>H29</u>	社会教育	f課 H3	нзо 社会教育課		
1		対象(誰を	・何を)		の健全育成に取組む関係団体			29年度事務	事業評価 ((28年度実施事	業)量			二次評価対		
	事務事業の	目的 (どうした)	$(M \Omega \Lambda)$	少年を)関係団体との協働により、家庭 とりまく環境の整備を行い、地域				計価・ の方向性	現状維持	各視点	からの評価	g当性 A	有効性 A	効率性 A	
	概要	手段	D.	市青少年	:取り組めるようにする。 年健全育成推進協議会、市青少年			総事	事業費	28年度決		29年度(当	4初)予算額	30年度		
		(事業内			連絡協議会、市青少年リーダー会 成金の交付、その他日常活動への		議会の各団体	(うちす	5負担額) 単位:千円		8,447 8,447) (14,556 14,556)	実施の 方向性		
	車系	8事業名		协課 終-	子ども教室事業			事務事業	コード	433-01-	-n2					
	総計に基	づく	(29年度)	<u> </u>	順調である	継続・	継続	法定・	自治事務(日		U当 H29	社会教育	F課 H3	30 **	会教育課	
	事業の進捗	対象(誰を		小学生		新規	442496	日沿		(28年度実施事				二次評価対		
2		目的	h	放課後	や週末等に学校の施設を利用して				許価・			3	妥当性	有効性	効率性	
	事務事業の 概要	(どうしたし	いのか)	により、	所を確保し、学習や様々な体験・3 子どもたちの社会性・自主性・創造	き性を育む 。			の方向性	改善して継続			Α	В	Α	
		手段(事業内	殳	員会、婦人	・学校区で地域住民を中心として実行委員会 人会、老人会、厚生保護女性会、PTA等)、 び、地域ボランティアとの交流、学習活動等	子どもたちにスポー	ツ、文化活動、		事業費 5負担額)	28年度法	等額 3,241	29年度(当	4初)予算額 23,286	30年度 実施の		
		(争木ド		する。	0 (10 - M. () 1	100 S 100 G 100 G 100	A 7 U IM A C INCIN		単位:千円	9 (2	2,251) (22,296)	方向性		
	事務事業名 学校支援地域本部事業							事務事業	コード	433-01-	-03					
	総計に基 事業の進捗		(29年度)	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(日	£意のもの) 担	<u>H29</u>	社会教育	f課 H3	30 社	会教育課	
3		対象(誰を	・何を)	子ども((主に公立小・中学校に通う児童	童生徒)、小・中	学校	29年度事務	事業評価 ((28年度実施事	業)最			二次評価対	才象事業	
ľ	事務事業の	目的 (どうした)			学校が連携協働して、校区内の の地域住民による支援活動				計評価・ の方向性	現状維持	各視点	からの評価	g当性 A	有効性 B	効率性	
	概要				これ域コーディネーターを配置し、学校				事業費	28年度決	·算額	29年度(当	4初)予算額	30年度	- ' '	
		手段(事業内			ア支援を行える環境作りをすすめると。 部活動指導、登下校の見守り等の取			(うち市	5負担額) 単位:千円	7 (2,551 1,825) (2,651 1,925)	実施の 方向性		
	車裂	8事業名		安庇教	育支援事業			事務事業	7-K	433-01-	-04					
	総計に基	づく	(29年度)	В	概ね順調である	継続・	継続	法定・	自治事務(日		L当 H29	社会教育	下課 出	30 2+	会教育課	
	事業の進捗	·			小学生の子をもつ親	新規	442.496	日泊		(28年度実施事				二次評価対		
4				子育でに	- 関する学習機会・情報の提供をとおし	て、保護者が身边	fな地域で家庭	-	·評価·	(20 + 12 × 11 × 11	,		妥当性	有効性	効率性	
	事務事業の 概要	(どうしたし	10001	教育に関ともに、対	関する学習や相談ができるようにするこ 地域や親同士の関係づくりをすすめる	ことで、家庭教育力 。	の向上を図ると		カ方向性	現状維持			Α	В	Α	
		手段 (事業)	爻 b coo \	習」講座	見学習リーダー(大阪府の養成講座や を開催し、グループワークの中での対	話や交流をとおし			事業費 5負担額)		2,375	29年度(当	4初)予算額 3,953	30年度 実施の		
		() -) (,,,	切ざや親	Rとしての自覚や責任について考えても	567。 -			単位:千円	(2,284) (3,862)	方向性		
		8事業名		青少年	健全育成啓発等事業			事務事業	コード	433-01-	-05					
	総計に基 事業の進捗		(29年度)	Α	順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(日	£意のもの) 担	L当 H29	社会教育	f課 H3	30 社	会教育課	
5		対象(誰を	・何を)		青少年健全育成に取り組む関係			29年度事務	事業評価 ((28年度実施事	業)量			二次評価対		
	事務事業の	目的 (どうした)			学校・地域が連携して青少年を と会全体で青少年の健全育成に				計評価・ の方向性	現状維持	各視点		g当性 A	有効性 B	効率性 A	
	概要				ことの協働関係の強化と啓発を「 「青少年非行防止月間」及び1		吉者支援強調	総事	事業費	28年度決	等額	29年度(当	4初)予算額	30年度		
		手段(事業内			こおいて関係団体と協働して啓 「健全育成大会・研修会を開催 [・]		且むとともに、	(うち市	5負担額) 単位:千円	3 (1,191 1,191) (1,150 1,150)	実施の 方向性		
	車型	· · · · · · · · · · · · · ·			の安全確保事業			事務重要	K	433-01-	-06	¬				
	総計に基			子どもの安全確保事業 B 概ね順調である		継続・	継続	法定・	法定・ 白治恵務(任意のもの)			社会教育	下課 H3	H30 社会教育課		
	事業の進捗	下 次		_	、子どもの安全見守りに参加す	新規 ろ地域住民等	ጥር። ባንር	日沿		(28年度実施事	当 H29 二类) 5			二次評価対		
6			h	地域住	民等による自発的な協力により	り、地域ぐるみ			計価・			3	妥当性	有効性	効率性	
	事務事業の 概要	目的 (どうした)	ያ እው ት እ)	全を見	守る環境をつくり、登下校時に)犯罪防止及び犯罪抑止につな	おける子どもの			お評価・	現状維持	各視点	からの評価	Α	В	Α	
		手段		児童の安: A、町会等	全見守り活動参加者の傷害保険事務等の 等)の協力により「みまもってるよ。こども110	活動支援。各種団体番」プレートを配布。	(校区育成協、PT (建物や自転車等		事業費 5負担額)	28年度決	·算額 1,310	29年度(当	4初)予算額 1,349	30年度 実施の		
		(事業内	Y谷)	に掲示し	子どもの安全な環境づくりへの協力意思を	示してもらう)			単位:千円		1,310) (1,349)	方向性		

					7											
基	本事業名	放課後・課外環		文 (誰を	†象 • 何	を)	児童									
ž	基本事業 コード	433-02		基本事業の 概要		的				、安全 ⁻	で快適な居り	を図る。				
第6	次羽曳野市総	合基本計画				(どうし)	こしい	(ימט								
	5策目標 5策	4 未来に羽 3 子ども・若			指標名					H28.4時 現状値(総			32年度 目標(総計)			
===	策の方向			ための環境整備を活かしたまちづくり	総合基本計画	留守家庭児童会の待機児童数				人		0	0	(
	ちづくりの は略	O (2)だれ:	もが安心	・安全に暮らせるまちづくり D活力と成長に向けたまちづくり												
	事務			児童健全育成事業			-	下務事業	ミ コード	433-02-	-01		I.	<u> </u>		
	総計に基事業の進捗	づく		順調である	継続・ 新規	継続	7.	-		务的なもの) 担		社会	教育課	H30 社	社会教育課	
1	7 88 8 2 2		就労等に	- こより保護者が昼間家庭にいない	小学校の児童及	び保護者	294	丰度事務	事業評価 (28年度実施事	業)	是 終結果		二次評価	対象事業	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	放課後に 全を守り、 間性を育っ	就労や疾病等により保護者が昼間家庭にし 遊びや異年齢との集団生活を通じて、健康 て、児童の健全育成を保障することを目的と	で自主性や社会性を備えた豊かな人とする。 設。開会時間は、平日は放課後から 0分から午後5時まで、延長利用(平成			総合評価・ 今後の方向性 改善して継			各視点	からの評価	妥当性	有効性	効率性 A	
		手段 (事業内容)	午後5時ま	小学校に留守家庭児童会(学童教室)を開 で、学校休業日(夏休み等)は、午前8時3(日より開始)は、午後5時から午後6時30分				総事業費 28年月 (うち市負担額) 単位:千円 (夹算額 77,589 63,810	29年度	(当初)予算 187,972 51,180	実施(実施	
	事務	事業名	留守家	庭児童会学習支援事業			iltel	下務事業	ニュード	433-02-	-02					
	総計に基 事業の進捗		В	概ね順調である	継続・ 新規	継続		法定・ 自治	自治事務(任	意のもの) 担	担当 H29	特命プロジ	ェクトチーム	ム H30 特命ブ	ロジェクトチー。	
2		対象(誰を・何を)	市内14小学校の留守家庭児童会入会児童					丰度事務	事業評価 (28年度実施事	業)量	是終結果		二次評価	対象事業	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	学習習	慣の定着を図る。					合評価・ の方向性	改善して継続	各視点	からの評価	_{妥当性} B	有効性 B	効率性 B	
		手段 (事業内容)		が各留守家庭児童会に週1回 受付等をするなど、学習支援を		題チェック・			事業費 市負担額) 単位:千円	28年度》	文算額 4,462 4,462	29年度	(当初)予算 5,193 5,193	実施の	実施	